I·O DATA

PCIバス搭載 PC98-NXシリーズ・DOS/Vマシン・
PC-9821シリーズ・Power Macintosh用　Fast Ethernet LANアダプタ

ET/TX-PCIシリーズ

取扱説明書

27643-01

【ご注意】

1)本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2)本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3)本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ・オー・データ機器PLANTコールセンターまでご連絡ください。
4)本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す場合には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5)本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、1部だけ複写できるものとします。
6)本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7)本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8)本サポートソフトウェアは、取扱説明者または仕様書において互換性があると記載されたサードパーティの製品に関し、互換性を保つために努力しますが、サードパーティの製品に問題または欠陥があるために互換性がない場合は例外とします。
9)本サポートソフトウェアの媒体につき、材料または仕上がりの点で物理的欠陥がないこと・取扱説明書どおり機能することをお買い上げの日より90日間保証致します。媒体に欠陥があった場合、欠陥媒体と引き換えに新しい媒体を提供致します。
10)書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
11)本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
12)本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is only suitable for use in Japan.　We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries.　We neither provide any technical support and/or after-service for the use of this product abroad.)
13)本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

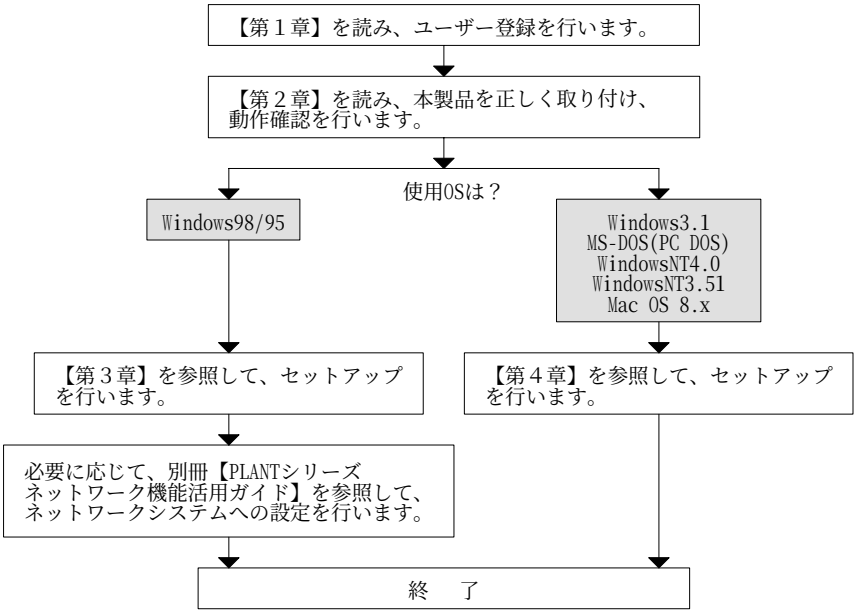
- I-O DATA,PLANTは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- ArtisoftとLANtasticは、米国 Artisoft,Inc.の登録商標です。
- Ethernetは、米国 Xerox Corporationの登録商標です。
- Microsoft,Windows,WindowsNT,MS,MS-DOSは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Apple, AppleTalk, Macintosh, Power Macintosh, Macは、米国Apple Computer,Inc.の登録商標です。
- NetWareは、米国 Novell,Inc.の登録商標です。
- SMC及びStandard Microsystemsは米国SMC Networks inc.の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

このたびは、PCIバス搭載　PC98-NXシリーズ･DOS/Vマシン･PC-9821シリーズ･Power Macintosh用LANアダプタボード『ET/TX-PCIシリーズ』をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

本書をご覧になるにあたって

・本書の見方

以下のフローに沿って、必要な箇所をお読みください。



• 呼び方

呼び方	意 味
ET/TX-PCIシリーズ	ET/TX-PCI及びET/TX-PCI-TUの総称
「ネットワークOS」または「NOS」	Network Operating System
Windows98	Microsoft® Windows®98 Operating System
Windows95	Microsoft® Windows®95 Operating System
Windows98/95	Windows98及びWindows95の総称
Windows3.1	Microsoft® Windows® Operating System Version3.1
WindowsNT4.0	Microsoft® WindowsNT® Operating System Version4.0
WindowsNT3.51	Microsoft® WindowsNT® Operating System Version3.51
WindowsNT	WindowsNT4.0及びWindowsNT3.51の総称
Windows98/95/NT	Windows98/95及びWindowsNTの総称
Windows	Windows98/95,Windows3.1及びWindowsNTの総称
Mac OS 8.x	Mac OS 8,8.1及び8.5の総称

• ハードウェア構成

本書では以下のような構成を想定して説明しています。構成の相違点を確認しながら読み進めてください。

(ドライブ構成)

PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンの場合

A:フロッピーディスク装置3.5インチ(1.44MB/720KB)
C:ハードディスク装置
使用するOSがインストール済みで起動可能
D:CD-ROMドライブ

PC-9821シリーズの場合

A:ハードディスク装置
使用するOSがインストール済みで起動可能
B:ハードディスク装置
C:フロッピーディスク装置3.5インチ(1.44MB/1.25MB/720KB)
D:CD-ROMドライブ

Power Macintoshの場合

フロッピーディスク装置3.5インチ(1.44MB/800KB)
ハードディスク装置
Mac OS 8.xがインストール済みで起動可能

はじめに……i
目次……iii

第1章 ご使用になる前に……1

1.1 特徴……1
1.2 箱を開けたら……2
1.3 動作環境……4
1.4 取り扱い及び使用上の注意……6
1.5 実行用ディスクの作り方……7

第2章 取り付け方法……8

2.1 各部の名称……8
2.2 LEDインジケータ……9
2.3 取り付け……10
2.3.1 取り付けの前に……10
2.3.2 取り付け……11
2.4 動作確認……13
2.4.1 DOS/Vﾏｼﾝ及びPC-9821ｼﾘｰｽﾞをお使いの場合……13
2.4.2 Power Macintoshをお使いの場合……17

第3章 日本語Windows98/95で使用するには……19

3.1 WIndows98へのインストール……19
3.2 WIndows95へのインストール……23
3.2.1 バージョン4.00.950/4.00.950aの場合……23
3.2.2 バージョン4.00.950 B/4.00.950 Cの場合……26
3.3 インストール後の確認……29
3.4 Windows版診断プログラム……32

第4章 他のOSで使用するには……36

4.1 MS-DOS及び日本語Windows3.1へのセットアップ 36
4.1.1 NetWare 3.12J/3.2J/4.1J/4.11Jへのｾｯﾄｱｯﾌﾟ 36
● サーバの設定 36
● クライアントの設定 40
4.1.2 Microsoft LAN Manager V2.1xへのセットアップ 41
4.1.3 Personal NetWare J1.0へのセットアップ 42
4.1.4 LANtastic 6.0へのセットアップ 42
4.2 日本語WindowsNT4.0へのセットアップ 43
4.2.1 インストール 43
4.2.2 インストール後の確認 50
4.2.3 Windows版診断プログラム 52
4.3 日本語WindowsNT3.51へのセットアップ 55
4.3.1 インストール 55
4.3.2 Windows版診断プログラム 57
4.4 Mac OS 8.xへのセットアップ 60
4.4.1 インストール 60
4.4.2 インストール後の確認 62
4.4.3 ネットワークの使用例 63

付録1 困った時には……64

● etsetup.exeでの自己診断中のトラブル 64
● Windows98/95/NT上での共通トラブル 66
● Windows98/95上でのトラブル 67
● Windows3.1,MS-DOS(PC DOS)上でのトラブル 72
● Power Macintoshでのトラブル 72

付録２ 仕様……７３

付2.1 パソコン環境 …… ７３
付2.2 ハードウェア仕様 …… ７７

PLANTコールセンターへのお問い合わせ …… ７８
サポートソフトのバージョンアップ …… ７９
修理について …… ８０

第1章　ご使用になる前に

この章では、ET/TX-PCIシリーズをご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。

1.1 特徴

■簡単セットアップ

- ●日本語LANアダプタ診断プログラムなど、わかりやすく操作をガイド
- ●プラグ＆プレイ対応の簡単インストール
- ●ネットワーク状態監視用のLEDインジケータを装備しているので、ネットワークトラブルの切り分けができます
- ●Windows98/95でファイル・プリンタの共有、メールの設定を詳しくガイド

■高速！PCIバス・100Mbps・Full-Duplex対応

- ●PCIバスの高速性を活かす32bitデータ転送およびバスマスタアーキテクチャをサポート
- ●Full-Duplex対応のスイッチングハブなどと併用することで、理論値2倍の高速通信が可能

■移行もスムーズ

- ●10/100Mbpsを自動的に検知して切り替えるため、既存の10BASE-Tネットワークにも簡単に設置でき移行もスムーズ

■安心！トータルサポート

- ●LAN製品専用サポートダイヤルを設置
- ●各種ネットワークOS用ドライバソフト添付

■標準添付ソフトウェア

- ●DOSODI4.0,NDIS2/3/4,NetWare3.12J/3.2J/4.1J/4.11J用サーバドライバ,
  Open Transport用ドライバ
- ●自己診断プログラム（MS-DOS(PC DOS)用,Windows用,Mac OS 8.x用）

1.2 箱を開けたら

- **内容のご確認**

No.	内容物	個数	備考
1	LANアダプタボード	1枚	ET/TX-PCIシリーズ
2	ET/TX-PCIサポートソフト	3枚	PC98-NXｼﾘｰｽﾞ･DOS/Vﾏｼﾝ用(1.44MB) PC-9821シリーズ用(1.44MB) Power Macintosh用(1.44MB)
3	取扱説明書	2冊	ET/TX-PCIシリーズ取扱説明書（本書） PLANTｼﾘｰｽﾞ ﾈｯﾄﾜｰｸ機能活用ｶﾞｲﾄﾞ
4	Verシール	2枚	
5	ハードウェア保証書	1枚	
6	ハードウェアシリアルNo.シール	1枚	
7	ユーザー登録カード	1枚	
8	『安全で快適にお使いいただくために』	1冊	

万が一、不足がございましたら弊社PLANTコールセンターまでお知らせください。

お願い：箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

• ユーザー登録について

オンラインによる登録と、ハガキによる登録の2通りがあります。
いずれかの方法で登録を行ってください。

《オンラインによる登録》（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/support/）

I-O DATA ホームページのサポートコーナーに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を記入することにより、即座にユーザー登録が行えます。

オンライン・ユーザー登録を行えば、抽選で賞品が当たる等のお楽しみ企画をご用意しております。

オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

《ハガキによる登録》

1). 添付のVerシールをユーザー登録カード、サポートソフトウェアディスクの「Verシール」と書かれている欄、本書の巻末に貼ってください。

2). ユーザー登録カードに添付のハードウェアシリアルNo.シールを貼り、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。

注 意

1)弊社PLANTコールセンターでのユーザーサポートは、ユーザー登録カードをご返送くださった方のみが対象となります。お買い上げいただいた製品ごとに必ずご返送ください。

2)必要事項のご記入もれや、必要なシールの貼り忘れがあった場合は、ユーザー登録できませんので必ずご確認ください。

1.3 動作環境

ご使用の機種や環境を再度ご確認ください。

• 対応機種

PCI(Peripheral Component Interconnect) Ver 2.0以降のバスを搭載した下記の機種

・NEC PC98-NXシリーズ

・DOS/Vマシン※

・NEC PC-9821シリーズ

・Apple Power Macintosh 4400/200,7200/90,7500/100,7600/132,8500/120,
8600/250,9500/180,9600/350,G3 DT233

※　弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っています。

• 対応ＯＳ

● PC98-NXシリーズの場合

日本語Windows98/95,日本語WindowsNT4.0

● DOS/Vマシンの場合

日本語Windows98/95,日本語WindowsNT4.0/3.51,
日本語Windows3.1(MS-DOS Ver5.0/V(PC DOS J5.0/V)以降),
MS-DOS Ver5.0/V(PC DOS J5.0/V)以降

● PC-9821シリーズの場合

日本語Windows98/95,日本語WindowsNT4.0/3.51,
日本語Windows3.1(MS-DOS Ver.5.0A-H以降),
MS-DOS Ver.5.0A-H以降

● Apple Power Macintoshの場合

Mac OS 8/8.1/8.5

• 対応ＮＯＳ環境

クライアント･サーバ

日本語Windows98/95
日本語WindowsNT4.0/3.51
NetWare 3.12J/3.2J/4.1J/4.11J
Microsoft LAN Manager V2.1xJ
Mac OS 8/8.1/8.5

ピア･ツー･ピア

日本語Windows98/95
日本語WindowsNT4.0/3.51
Personal NetWare J1.0
LANtastic 6.0
LANtastic for Windows98/95
Mac OS 8/8.1/8.5

対応ドライバ

DOSODI 4.0　386ODI 3.3
NDIS 2/3/4
Open Transport

注 意

【Windows3.1,MS-DOS(PC DOS)で使用時の注意】
メモリマネージャを利用する場合、32Bit I/Oアクセス可能なバージョンが必要です。

DOS/Vマシンの場合
- EMM386.EXE　Ver.4.49以降（NIFTY-SERVEのMicrosoft Stationなどで入手可能）
- VMM386.EXE　Ver.3.51以降
- QEMM386.SYS　Ver.7.0以降
- 386MAX.SYS　Ver.6.03以降

PC-9821シリーズの場合
- EMM386.EXE　（NEC製Windows3.1,Microsoft製Windows3.1, NEC製MS-DOS Ver.5.0以降に添付）
- VMM386.EXE　Ver.3.10以降

1.4 取り扱い及び使用上の注意

・ 本製品の取り付けや取り外しは、必ずパソコン本体及び周辺機器の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。故障の原因になることがあります。

・ 本製品は精密機器です。落としたり衝撃を加えないよう、丁寧に取り扱ってください。

・ 本製品に対し、以下のことを行わないでください。火災・感電・動作不良の原因になります。
・分解や改造などをしないでください。
・濡れた手などで本製品を取り扱わないでください。

・ 保証について
◎保証期間
・保証期間は、製造日より3年間です。保証期間を過ぎたものは有料修理となります。
また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
・弊社が販売中止を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。
◎保証範囲
次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。
・本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

1.5 実行用ディスクの作り方

本製品に添付されているサポートソフトウェアディスクは必ずバックアップを取り、バックアップディスクの方を実行用ディスクとしてご使用ください。
ここでは、実行用ディスクの作り方を説明します。（以下は、フロッピーディスクドライブがAドライブの場合）

1. 1.44MBでフォーマット済みの空きフロッピーディスク(3.5インチ2HD)を用意します。
2. サポートソフトウェアディスクを書き込み禁止にします。
3. **Windows98/95,WindowsNT4.0の場合**は、『ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』の「3.5ｲﾝﾁ FD(A:)」を右クリックし、『ﾃﾞｨｽｸのｺﾋﾟｰ』を選択します。

Windows98/95の例)

MS-DOS（Windows3.1,PC DOS）,WindowsNT3.51の場合は、MS-DOSのコマンド入力状態でDISKCOPY コマンドを実行します。

MS-DOSの例)

```
C:\>diskcopy a: a:・
```

（下線部入力）

4. サポートソフトウェアディスクと空きフロッピーディスクをメッセージにしたがって入れ替えながら、バックアップを取ります。

注 意

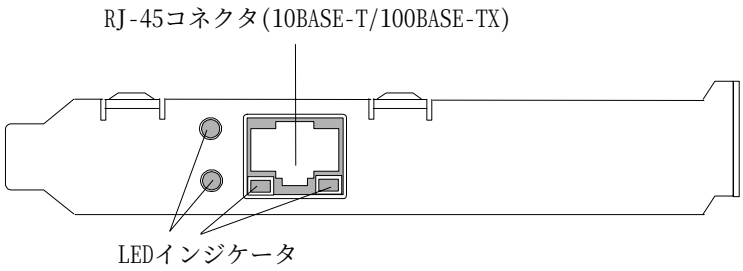
サポートソフトウェアディスクを破損した場合の修理は有償です。
必ずバックアップを取り、サポートソフトウェアディスクは大切に保管してください。

第2章　取り付け方法

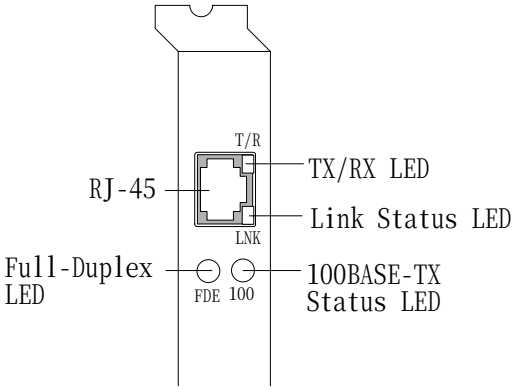
ET/TX-PCIシリーズは、PCIバス仕様の拡張スロットに装着することができます。
この章では、パソコンにET/TX-PCIシリーズをセットアップする方法を説明します。

2.1 各部の名称

● **ET/TX-PCIシリーズ**



2.2 LEDインジケータ



LEDインジケータ	機能
TX/RX	TX/RX (T/R)　LEDインジケータは、送受信用データを示します。 緑色の点滅(点灯)状態は、ネットワークの利用状況を示しています。
Link Status	Link(LNK) Status LEDインジケータは、ネットワークリンクステータスインジケータとして機能します。 このLEDは、ET/TX-PCIシリーズのハードウェアが適切にセットアップされている時、常に緑色に点灯しています。そうでなければネットワーク回線接続をチェックしてください。
Full-Duplex	Full-Duplex(FDE) LEDインジケータは、ET/TX-PCIシリーズのデータ転送モードをフルデュプレクスに設定 (10BASE-Tと100BASE-TXの両方で有効) したときに点灯します。
100BASE-TX Status	100BASE-TX(100) Status LEDインジケータは、100BASE-TXで通信されている状態のときのみに点灯します。 ET/TX-PCIシリーズはネットワークの通信状態 (10BASE-Tか100BASE-TX) をハブの転送スピードから自動認識します。

2.3 取り付け

2.3.1 取り付けの前に

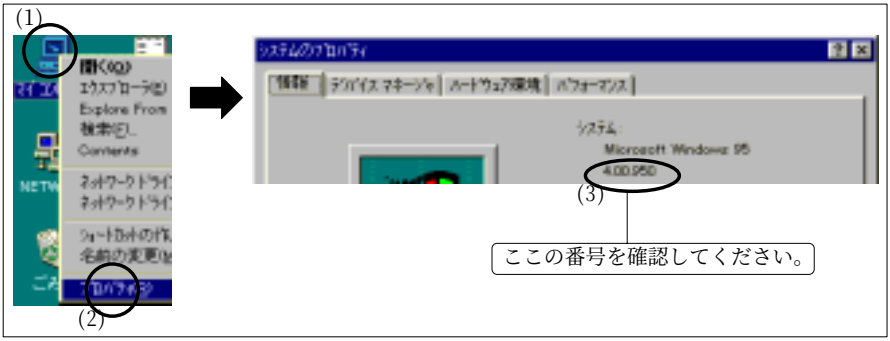
Windows95をご使用の場合は、ボードを取り付ける前に以下を参照してWindows95のバージョン番号の確認を行ってください。他のOSをご使用の場合は、バージョン番号の確認は必要ありません。この項を読み飛ばしてください。

注 意

Windows95のバージョンによりインストール方法が異なります。必ずバージョンを確認してからボードの取り付けを行ってください。

《Windows95バージョンの確認方法》

「ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」(1)にマウスカーソルを合わせて右クリックし、現れたメニューから「ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」(2)を選択します。『ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』に表示される番号(3)を確認してください。（Windows95のバージョンには、「4.00.950」,「4.00.950a」,
「4.00.950 B」,「4.00.950 C」があります。）



2.3.2 取り付け

注 意

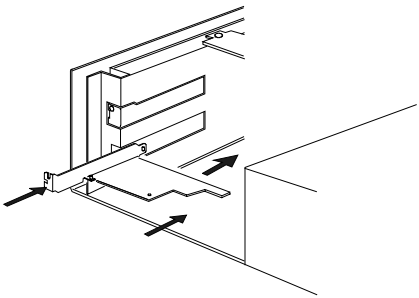
1)ボードの取り付け、取り外しの際は、必ずパソコン本体及び周辺機器の電源をOFFにして、電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行ってください。
2)取り付けるPCIスロットによっては、本製品が動作しない場合※があります。その場合は、他のPCIスロットに取り付けてください。
※例）WindowsNTモデルに「ET/TX-PCIシリーズ」を取り付け、WindowsNTを起動します。次にWindowsNT用ドライバをインストール後、WindowsNTの再起動中に「ｲﾍﾞﾝﾄﾛｸﾞ」でエラー表示される場合があります。この場合は、「ET/TX-PCIシリーズ」のドライバを削除後、電源を切って「ET/TX-PCIシリーズ」を一旦取り外し、他のPCIスロットに取り付けてください。(詳細は【● Windows98/95/NT上でのトラブル】(P66)をご覧ください。)

1 パソコンの電源スイッチを切り、パソコンの電源ケーブル及び周辺機器に接続されているケーブルを全て取り外します。

2 パソコンのカバーを取り外します。取り外し方については、パソコンの取扱説明書を参照してください。

3 空いているPCI拡張スロットのスロットカバーを取り外してください。

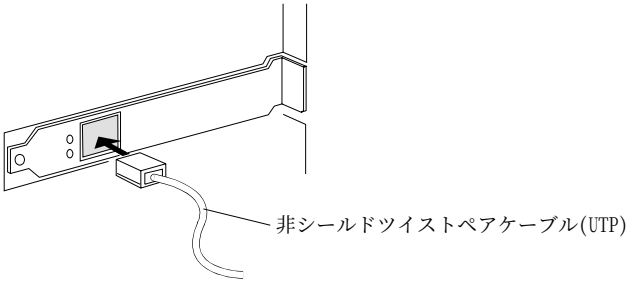
4 PCI拡張スロットにET/TX-PCIシリーズを取り付けます。
ET/TX-PCIシリーズがPCI拡張スロットに適切に装着されることを確認しながら押し込みます。
（ご使用のパソコンによっては、本製品の部品面を下に向けて差し込む場合や本製品を垂直に差し込む場合などがあります。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照ください。）



5 **PCI拡張スロットにET/TX-PCIシリーズが確実に固定されるように、スロットカバー用のネジを取り付けます。**

6 **手順1や2で取り外された、パソコンのカバーと全ての周辺機器やケーブルを元に戻します。**

7 **ET/TX-PCIシリーズをネットワークに接続します。（非シールドツイストペアケーブル[カテゴリー5]を使用してください。）**



以上で取り付けは終了です。取り付け後、次ページを参照して動作確認を行ってください。

2.4 動作確認

ET/TX-PCIシリーズの自己診断による動作確認を行います。

注 意

PC98-NXシリーズ及びMS-DOS(PC DOS)が起動しないOSをお使いの場合は、以下で説明する動作確認は行えません。その場合は、**各OSでET/TX-PCIシリーズのドライバをインストール後**、診断プログラムを実行してください。(詳細は〔第3章〕及び〔第4章〕を参照してください。)
Power Macintoshをお使いの場合は〔2.4.2〕(P17)を参照してください。

2.4.1 DOS/Vマシン及びPC-9821シリーズをお使いの場合

動作確認は、MS-DOS上で動作する[etsetup.exe]で行います。

特に注意

1)Windows上のDOSプロンプトでは実行しないでください。
2)動作確認を行う場合は、config.sysやautoexec.batに各種ネットワークドライバ(NetWare,MS LAN Manager,LANtastic等)を組み込まない状態でテストを行ってください。
組み込まれたまま動作確認を行うと、パソコンがハングアップしたりして正常に動作しなくなる場合があります。

1 周辺機器の電源を入れてからパソコン本体の電源を入れ、ハードディスクからMS-DOSを起動します。(以下は、DOS/Vマシン及びPC-9821シリーズでWindows98/95からDOSプロンプトを起動する場合です。)

● **DOS/Vマシンの場合**

① Windows98の場合は、Windows98の起動時(「Windows98」ロゴマークが表示される前)に〔F8〕キーまたは〔Ctrl〕キーを押します。
Windows95の場合は、Windows95の起動時(Starting Windows95...の表示中)に[F8]キーを押します。

②「Startup Menu」が表示されたら「Command prompt only」を選択してDOSプロンプトを起動してください。

● **PC-9821シリーズの場合**

① Windows98の場合は、Windows98の起動時（「Windows98」ロゴマークが表示される前）に［F8］キーまたは［Ctrl］キーを押します。
Windows95の場合は、Windows95の起動時（「Windows 95 を起動しています」…の表示中）に[F8]キーを押します。

②「起動メニュー」が表示されたら「Command prompt only」を選択してDOSプロンプトを起動してください。

参考

DOS/Vマシンでメモリマネージャやその他のデバイスドライバと競合する場合は、「Command prompt only」を選択する前に[SHIFT]+[F8]キーでStep-by-step confirmationモードを「Y」に切り替えてから起動してください。途中、競合するドライバを組み込まないように選択しながら、DOSプロンプトを起動してください。(日本語環境は必ず組み込んでください。)

2 フロッピーディスクドライブに添付の各機種用「ET/TX-PCIサポートソフト」ディスクをセットし、以下のようにセットアッププログラムを起動します。

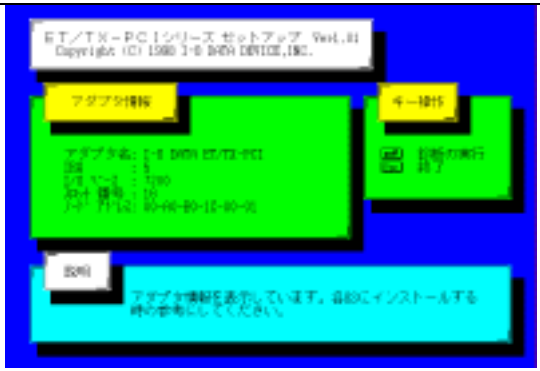
書式　［サポートソフトウェアディスクのドライブ名］:\etsetup

DOS/Vマシンの場合

例）C:\>a:\etsetup・　（下線部入力）

セットアップ画面が表示されたら「ＬＡＮアダプタの自己診断」を選択してください。

3 パソコンにセットされているET/TX-PCIシリーズのIRQ,I/Oポート,ノードアドレス等が表示されます。・キーを押すと、アダプタの診断を開始します。

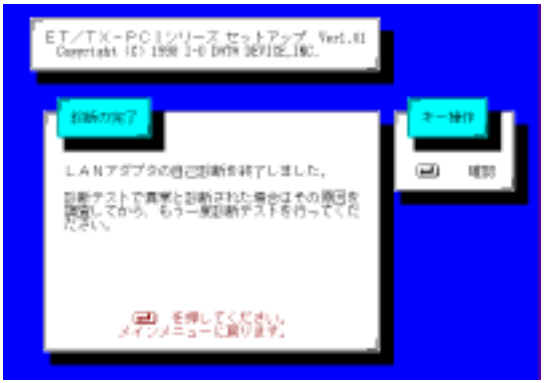


4 以下の項目について、ET/TX-PCIシリーズのチェックが行われます。

・ﾊﾞｽ ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ｺﾝﾄﾛｰﾗ テスト
・ノード アドレス ROM テスト
・ﾈｯﾄﾜｰｸ ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ｺﾝﾄﾛｰﾗ テスト
・割り込み テスト
・ケーブル接続 テスト
・ループバック テスト

上記テストで異常がない事を確認し、・キーを押してください。

5 **自己診断終了の画面が表示されます。・キーを押してください。**



6 **etsetup.exeの初期画面（手順2の画面）に戻りますので、「セットアップの終了」にカーソルを合わせ、・キーを押してください。診断プログラムを終了します。**

注 意

1)トラブルが持続するならば、LAN間接続（ケーブル、ハブなど）が確実に接続されていることを確認し、トラブルを確定するためにパソコンを再起動して再び「LANアダプタの自己診断」を動かしてください。
2)すでに存在しているネットワーク環境に接続してテストを行う場合は、事前にネットワークシステム管理者にご相談ください。

2.4.2 Power Macintoshをお使いの場合

診断プログラムは、ドライバのインストールを行う前に実行してください。

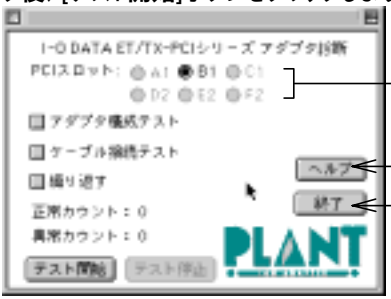
注 意

1 Power Macintosh用「ET/TX-PCIサポートソフト for Macintosh」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、「ET/TX-PCIシリーズ診断」アイコンをダブルクリックしてください。

ET/TX-PCIシリーズ診断

2 [OK]ボタンをクリックしてください。

3 下記の画面が表示されますので、診断を行いたいPCIスロットを選択し、テストする項目をチェック後、[テスト開始]ボタンをクリックします。（複数選択可）



診断を行いたいPCIスロットを選択します。

ヘルプを表示します。

診断プログラムを終了します。

◎ アダプタ構成テスト
　アダプタの基本的なテストを行います。

◎ ケーブル接続テスト
　ケーブルの接続及びループバックテストを行います。このテストを行う時は、必ずケーブルを接続しリンクを確立してください。

◎ 繰り返す
　同じテストを繰り返す時にチェックします。チェックしない場合は、指定したテストを1回だけ行います。（テストは通常1回行えば充分です。）
　チェックした場合は、[テスト停止]ボタンをクリックしてテストを停止してください。

4 **テストを開始して「正常カウント：1」となれば、「ET/TX-PCIシリーズ」は正常に動作しています。**

以上で動作確認は終了です。[4.4 Mac OS 8.xへのセットアップ] (P60)を参照して、インストール作業を行ってください。

第3章 日本語Windows98/95で使用するには

Windows98/95上でET/TX-PCIシリーズを使用するには、ドライバのインストール及びネットワークの設定が必要となります。
ここでは、Windows98/95へのEX/TX-PCIシリーズのドライバのインストール方法及び各種ネットワークの設定について説明します。

3.1 Windows98へのインストール

注 意

1)一部の機種では、自動認識されて弊社製のドライバが組み込まれます。その場合、ドライバのセットアップは特に必要ありません。
2)ET/TX-PCIシリーズのRJ-45コネクタ(10BASE-Tまたは100BASE-TX)に、ネットワーク接続されたケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。
3) 「2.4 動作確認」(P13)を参照して正常に動作することを確認してください。
4)パソコンへWindows98をインストールする場合は、LANアダプタ(本製品を含む)を取り付けない状態で、行ってください。
5)Windows98の新機能には対応していない場合があります。

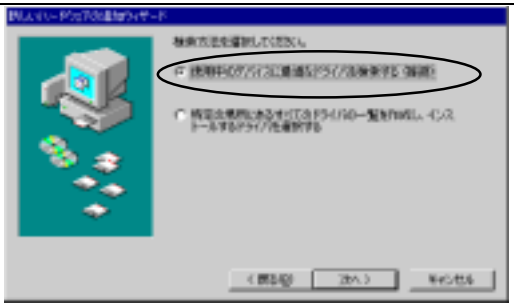
1 ET/TX-PCIシリーズをパソコン本体に取り付け、Windows98を起動します。

2 ウィザードが新しいハードウェアを検出し、「次の新しいドライバを検索しています。」と表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。

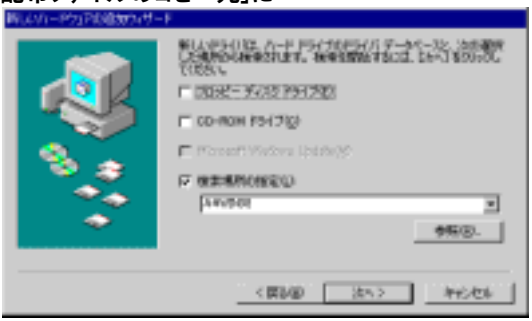
注 意

自動検出されなかった場合は、【● Windows98/95上でのトラブル】(P67)をご覧ください。

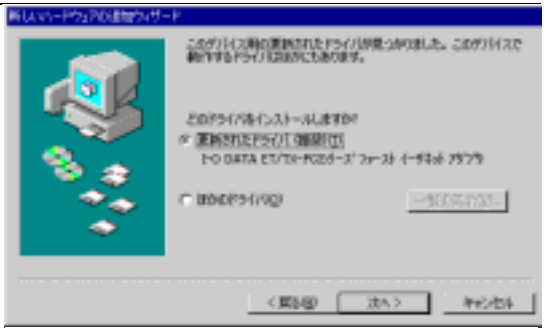
3 「使用中のデバイスに最適なドライバ特定の場所にあるすべてのドライバを検索する（推奨）」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



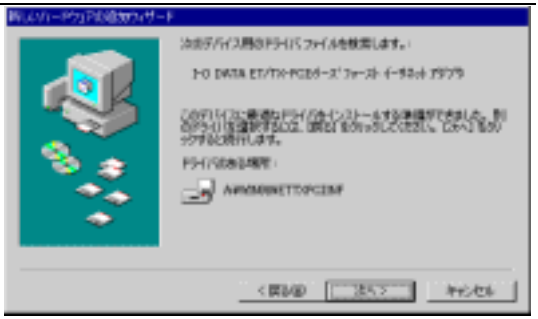
4 フロッピーディスクドライブに「ET/TX-PCIサポートソフト」ディスクを挿入し、「検索場所の指定」のみをチェックし、「配布ファイルのコピー元」に A:\WIN98 （ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがAの場合）と打ち込み、[次へ]ボタンをクリックしてください。



5 右の画面では、[次へ]ボタンをクリックしてください。



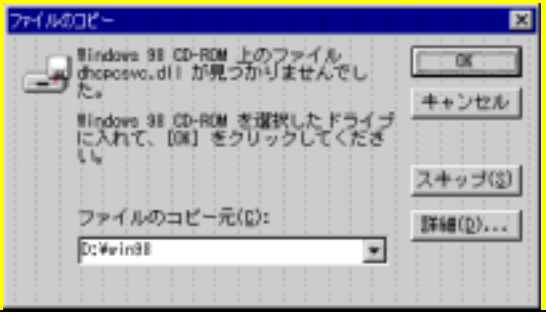
6 「このﾃﾞﾊﾞｲｽに最適なドライバをインストールする準備ができました。」と表示されますので、確認して[次へ]ボタンをクリックします。ファイルコピーを開始します。



7 Windows98のシステムディスクが要求されます。
Windows98のシステムディスク（CD-ROM）をセットし、[OK]ボタンをクリックしてください。

注意

「Windows98 CD-ROM上のﾌｧｲﾙ ……が見つかりませんでした。」
とエラー表示された場合は、Windows98のCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されている事を確認して、以下の例の様にパス指定を行い[OK]ボタンをクリックしてください。
（以下の下線部入力:CD-ROMドライブがDドライブの場合）
PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンの場合　D:\WIN98
PC-9821シリーズの場合　D:\WIN98n



8 必要なファイルがコピーされると、
「新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱﾃﾞﾊﾞｲｽに必要なｿﾌﾄｳｪｱがｲﾝｽﾄｰﾙされました。」
と表示されます。[完了]ボタンをクリックしてください。

9 「今すぐ再起動しますか」と表示されますので、「ET/TX-PCIサポートソフト」ディスクを抜き、[はい]ボタンをクリックして、再起動してください。

以上でインストールは終了です。Windows98を再起動後、インストール後の確認を行ってください。（[3.3 インストール後の確認] (P29)参照）

3.2 Windows95へのインストール

注 意

1)ET/TX-PCIシリーズのRJ-45コネクタ(10BASE-Tまたは100BASE-TX)に、ネットワーク接続されたケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。
2)〔2.4 動作確認〕(P13)を参照して正常に動作することを確認してください。
3)パソコンへWindows95をインストールする場合は、LANアダプタ(本製品を含む)を取り付けない状態で、行ってください。

Windows95のバージョン(4.00.950,4.00.950a,4.00.950 B,4.00.950 C)によってインストール手順(画面)が異なります。〔2.3.1 取り付けの前に〕(P10)で確認したバージョンの該当欄を参照してインストールを行ってください。

Windows95のバージョンが4.00.950または4.00.950aの場合
　以下の〔3.2.1 バージョン4.00.950/4.00.950aの場合〕をお読みください。
Windows95のバージョンが4.00.950 Bまたは4.00.950 Cの場合
　〔3.2.2 バージョン4.00.950 B/4.00.950 Cの場合〕(P26)をお読みください。

3.2.1 バージョン4.00.950/4.00.950aの場合

1 電源を入れ、Windows95を起動します。

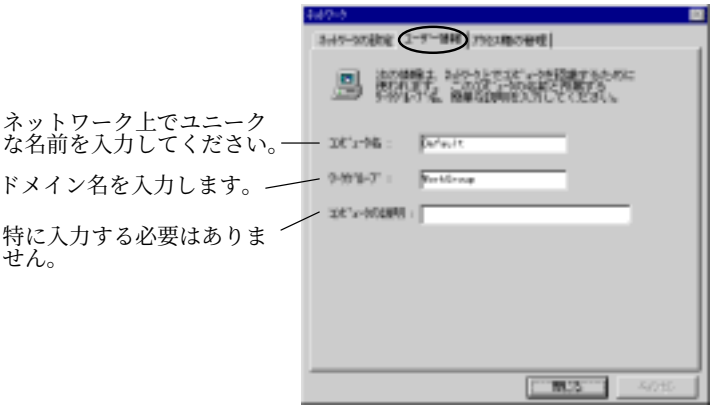
2 Windows95がET/TX-PCIシリーズを自動的に検出し、『新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱ』画面が表示されます。「ﾊｰﾄﾞｳｪｱの製造元が提供するﾄﾞﾗｲﾊﾞ」を選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。

注 意

自動検出されなかった場合は、〔● Windows98/95上でのトラブル〕(P67)をご覧ください。

3 **「ET/TX-PCIサポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「配布ﾌｧｲﾙのｺﾋﾟｰ元」に A:\WIN95 （ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがAドライブの場合）と入力し[OK]ボタンをクリックしてください。**

4 **以下の「ﾕｰｻﾞｰ情報」の設定画面が表示された場合は、「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ名」や「ﾜｰｸｸﾞﾙｰﾌﾟ名」を入力し、[閉じる]ボタンをクリックします。**



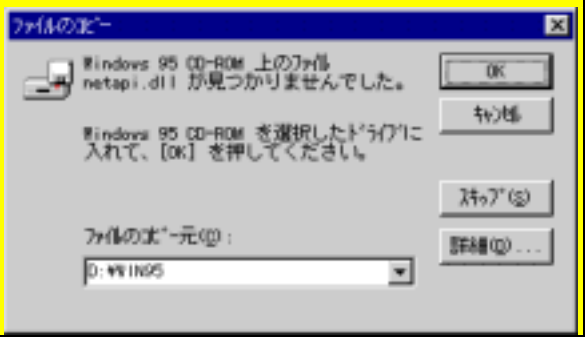
5 **Windows95のシステムディスクが要求されます。**
Windows95のシステムディスク（CD-ROM）をセットし、[OK]ボタンをクリックしてください。

注 意

「Windows95 CD-ROM上のﾌｧｲﾙ netapi.dllが見つかりませんでした。」とエラー表示された場合は、Windows95のCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されている事を確認して、以下の例の様にパス指定を行い[OK]ボタンをクリックしてください。

例)　D:\WIN95

(下線部入力:
CD-ROMドライブが
Dドライブの場合)



6 『ｼｽﾃﾑ設定の変更』画面で、ドライブからフロッピーディスクを抜き、[はい]をクリックしてWindows95を再起動してください。

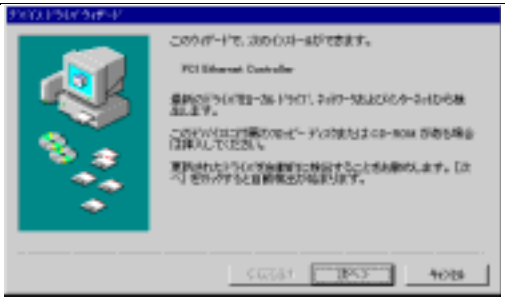
『ｼｽﾃﾑ設定の変更』が表示されずにWindows95が起動した場合は、手動で再起動してください。

以上でインストールは終了です。Windows95を再起動後、インストール後の確認を行ってください。([3.3 インストール後の確認] (P29)参照)

3.2.2 バージョン4.00.950 B/4.00.950 Cの場合

1 電源を入れ、Windows95を起動します。

2 Windows95がET/TX-PCIシリーズを自動的に検出し、『ﾃﾞﾊﾞｲｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｳｨｻﾞｰﾄﾞ』画面が表示されます。
「ET/TX-PCIサポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、[次へ]ボタンをクリックします。



注 意

自動検出されなかった場合は、【● Windows98/95上でのトラブル】(P67)をご覧ください。

3 「このﾃﾞﾊﾞｲｽ用の更新されたﾄﾞﾗｲﾊﾞが見つかりました。
I-O DATA ET/TX-PCIｼﾘｰｽﾞ ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」のメッセージがでたら、[完了]ボタンをクリックします。インストールを開始します。

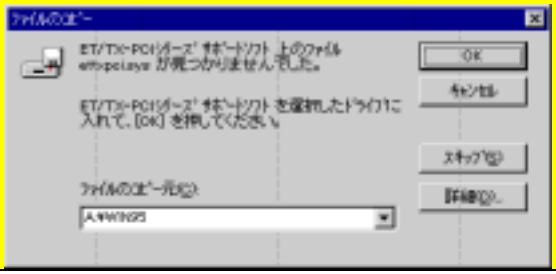
4 「ET/TX-PCIサポートソフト」が要求されます。

「ET/TX-PCIサポートソフト」ディスクがフロッピーディスクドライブに挿入されていることを確認して[OK]ボタンをクリックしてください。

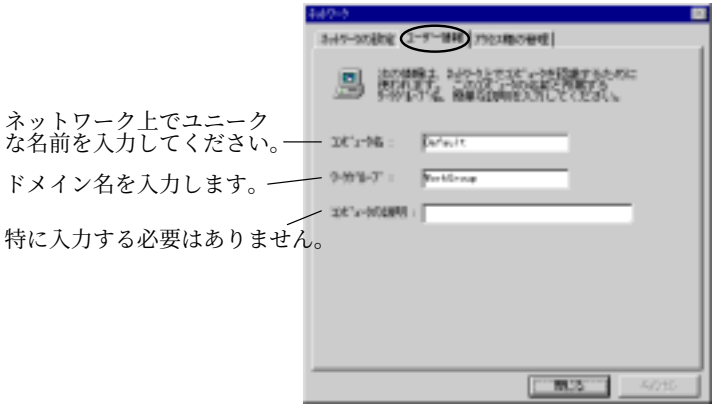
注 意

「･･･のﾌｧｲﾙ ettxpci.sysが見つかりませんでした。」とエラー表示された場合は、以下の例の様にパス指定を行い[OK]ボタンをクリックしてください。

例)　A:\WIN95
(下線部入力:フロッピーディスクドライブがAドライブの場合)



5 **以下の「ﾕｰｻﾞｰ情報」の設定画面が表示された場合は、「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ名」や「ﾜｰｸｸﾞﾙｰﾌﾟ名」を入力し、[閉じる]ボタンをクリックします。**



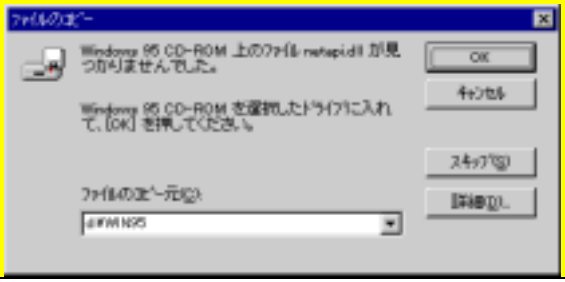
6 **Windows95のシステムディスクが要求されます。**
Windows95のシステムディスク(CD-ROM)をセットし、[OK]ボタンをクリックしてください。

注 意

「Windows95 CD-ROM上のﾌｧｲﾙ　netapi.dllが見つかりませんでした。」とエラー表示された場合は、Windows95のCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されている事を確認して、以下の例の様にパス指定を行い[OK]ボタンをクリックしてください。

例)　D:\WIN95

(下線部入力:
CD-ROMドライブが
Dドライブの場合)



7 『ｼｽﾃﾑ設定の変更』画面で、ドライブからフロッピーディスクを抜き、[はい]をクリックしてWindows95を再起動してください。

『ｼｽﾃﾑ設定の変更』が表示されずにWindows95が起動した場合は、手動で再起動してください。

以上でインストールは終了です。Windows95を再起動後、インストール後の確認を行ってください。([3.3 インストール後の確認] (次ページ)参照)

3.3 インストール後の確認

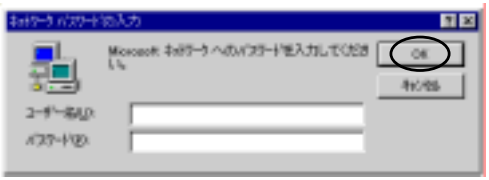
ここではET/TX-PCIシリーズが、Windows98/95で正常に認識されているかどうかの確認方法を説明します。
インストール終了（再起動）後、必ず以下の事を確認してください。

確認事項

≪確認事項　Ⅰ≫

パソコンを再起動すると起動途中で以下のA画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力して[OK]ボタンをクリックしてください。
起動後、デスクトップ上に、「ﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」アイコンが追加されたことを確認してください。（以下のB画面）

A　「ﾈｯﾄﾜｰｸﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの入力」画面



B　「ﾃﾞｽｸﾄｯﾌﾟ」上の「ﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」アイコン

参考

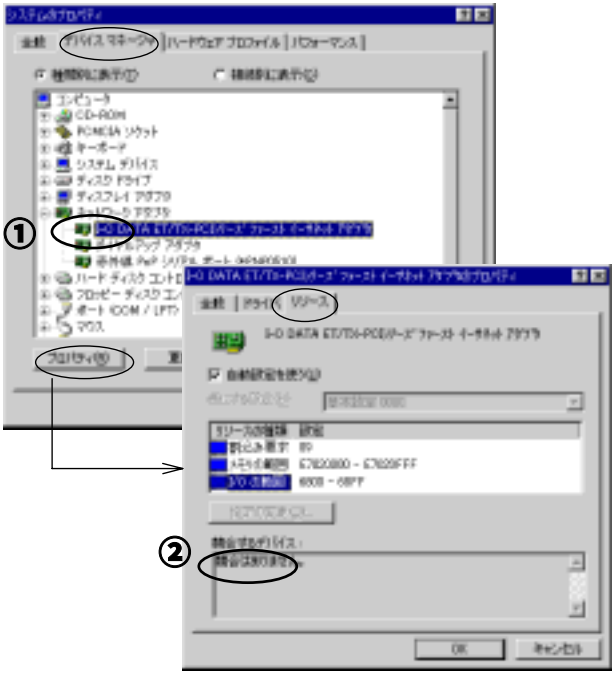
Windows98/95では、パスワード管理も一元化されています。ユーザーID、パスワードを利用するネットワークで同一にしておけば、1つのネットワークにログインすれば、他のネットワークにユーザIDとパスワードの入力なしでログインできます。

≪確認事項 II≫

『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』をクリックし、『ｼｽﾃﾑ』アイコンをダブルクリックしてください。

① 『ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾃﾞﾊﾞｲｽ ﾏﾈｰｼﾞｬ」で、「I-O DATA ET/TX-PCIｼﾘｰｽﾞ ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」の頭に、！マークが付いていないことを確認してください。

② 「I-O DATA ET/TX-PCIｼﾘｰｽﾞ ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」を選択した状態で、[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]をクリックし、『I-O DATA ET/TX-PCIｼﾘｰｽﾞ ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾘｿｰｽ」で、デバイスが競合していない事を確認してください。



参照

！マークがついている場合は、[● Windows98/95上でのトラブル](P67)を参照してください。

≪確認事項 III≫

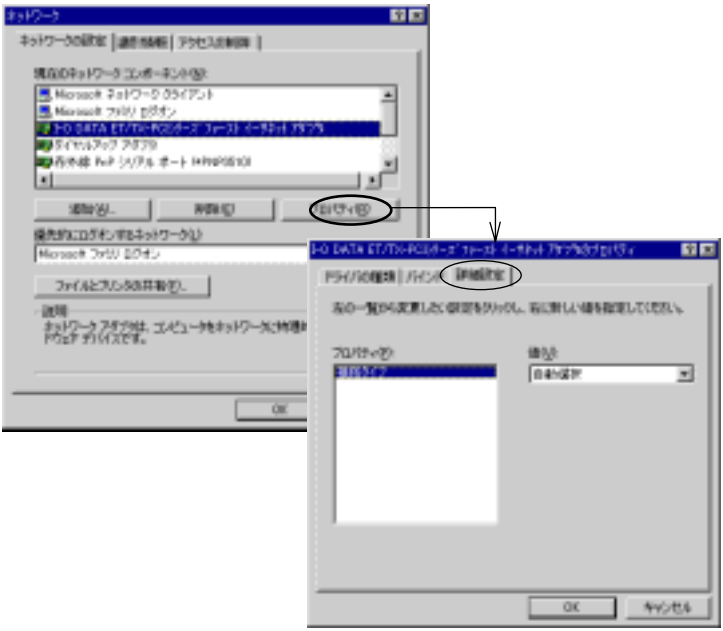
『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』の「ﾈｯﾄﾜｰｸ」アイコンをダブルクリックします。『ﾈｯﾄﾜｰｸ』画面になります。

「接続ﾀｲﾌﾟ」が「自動選択」となっていることを確認してください。

この設定が正しくないとWindows98/95が<u>ハングアップ</u>したり<u>正常な動作を行わない</u>可能性があります。

注 意

システムを起動する時にはケーブルを、ネットワークへ<u>必ず接続しておいてください</u>。接続していない場合、正常に機能せず、Windows98/95がハングアップするなどの現象が発生します。



正常に認識されていることが確認されたら、Windows98/95でET/TX-PCIシリーズが使用できます。

3.4 Windows版診断プログラム

本プログラムは、PC98-NXシリーズなどのDOSが動作しない環境で使用できるWindows版のプログラムです。

注 意

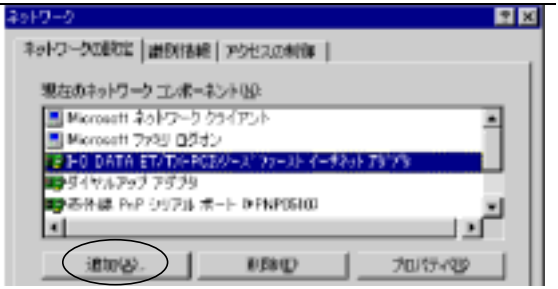
本プログラムはNetWare Client32 / Intranet Ware Clientをインストールしていると動作しません。

インストール

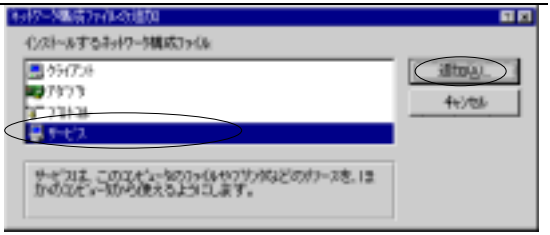
ネットワーク診断サービスのインストールを行います。

1 『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』の「ﾈｯﾄﾜｰｸ」アイコンをダブルクリックしてください。

2 『ﾈｯﾄﾜｰｸ』画面が表示されますので、[追加]ボタンをクリックしてください。



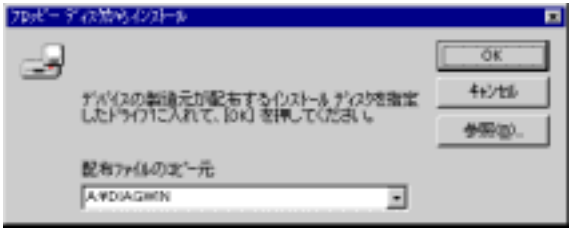
3 『ﾈｯﾄﾜｰｸ構成ﾌｧｲﾙの追加』画面が表示されますので、「ｻｰﾋﾞｽ」を選択して[追加]ボタンをクリックしてください。



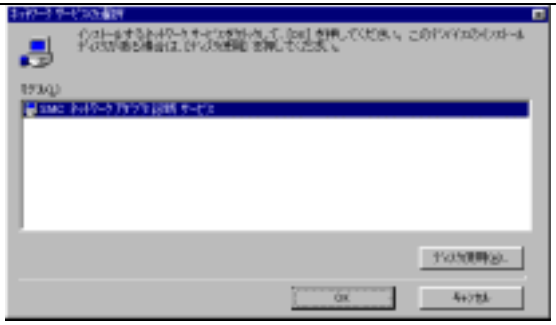
4 『ﾈｯﾄﾜｰｸｻｰﾋﾞｽの選択』画面が表示されますので、[ﾃﾞｨｽｸ使用]ボタンをクリックしてください。

5 「ET/TX-PCIサポートソフト」をフロッピーディスクドライブに入れ、下記のように入力して[OK]ボタンをクリックしてください。

A:\DIAGWIN　　(下線部入力:ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがAﾄﾞﾗｲﾌﾞの場合)



6 「SMC ﾈｯﾄﾜｰｸ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ診断 ｻｰﾋﾞｽ」が選択されていることを確認して、[OK]ボタンをクリックしてください。



7 手順**2**の画面に戻るので、[OK]ボタンをクリックしてください。必要なファイルのコピーを開始します。

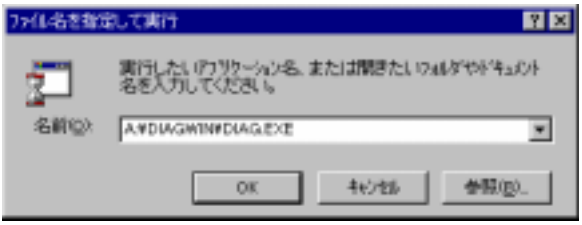
8 ファイルのコピーが終了したら下記の画面が表示されますので、**フロッピーディスクドライブから「ET/TX-PCIサポートソフト」を抜いて**、パソコンを再起動してください。

以上でインストールは終了です。
再起動後、診断プログラムを起動してください。

診断プログラムの実行

1 「ET/TX-PCIサポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、『ｽﾀｰﾄ』→『ﾌｧｲﾙ名を指定して実行』で下記のように入力し、[OK]ボタンをクリックすると診断プログラムが起動します。

A:\DIAGWIN\DIAG.EXE（ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがAﾄﾞﾗｲﾌﾞの場合）



2 「アダプタ名」に「ET/TX-PCIｼﾘｰｽﾞ ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」と表示されていることを確認（表示されていない場合はリストボックスから選択）して、[ｱﾀﾞﾌﾟﾀ診断]ボタンをクリックすると診断を開始します。

① アダプタ名　　診断を行うアダプタを表示します。
② 設定状態　　「アダプタ名」に表示されているアダプタの設定状態を表示します。
③ 状況　　ドライバ及びネットワークの状況を表示します。
④ 動作状態　　各項目の動作状態を表示します。
⑤ 診断情報　　診断結果などを表示します。

3 診断プログラムを終了させるには、テストが完了したことを確認の上、[終了]ボタンをクリックしてください。

注 意

1)トラブルが持続するならば、LAN間接続（ケーブル、ハブなど）が確実に接続されていることを確認し、トラブルを確定するためにパソコンを再起動して再び「診断プログラム」を動かしてください。
2)すでに存在しているネットワーク環境に接続してテストを行う場合は、事前にネットワークシステム管理者にご相談ください。

アンインストール

診断プログラムが必要なくなったら、下記の手順で診断サービスを削除してください。

1 『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』の「ﾈｯﾄﾜｰｸ」アイコンをダブルクリックしてください。

2 『ﾈｯﾄﾜｰｸ』画面が表示されますので、「SMC ﾈｯﾄﾜｰｸ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ 診断 ｻｰﾋﾞｽ」を選択して、[削除]ボタンをクリックしてください。

3 パソコンを再起動してください。

ネットワークシステムへの設定について

正常に認識されていることが確認されたら、Windows98/95でET/TX-PCIシリーズが使用できます。この後、Windows98/95同士のピア・ツー・ピア接続や各種ネットワークシステム(NetWare,WindowsNT,LANtastic for Windows95)のクライアントとして使用する場合は、必要に応じて以下を参照してください。

- **ピア・ツー・ピア接続の設定**

  別冊の『PLANTシリーズ ネットワーク機能活用ガイド』の〔1.2 ピア・ツー・ピア接続の設定〕を参照してください。

- **各種ネットワークシステムへの接続**

  別冊の『PLANTシリーズ ネットワーク機能活用ガイド』の〔1.3 各種ネットワークシステムへの接続〕を参照してください。

第4章　他のOSで使用するには

この章では、第2章で取り付けたET/TX-PCIシリーズをMS-DOS,Windows3.1,
WindowsNT及びMac OS 8.xの各種NOS環境で使用する場合の設定について説明します。

4.1 MS-DOS及び日本語Windows3.1へのセットアップ

4.1.1 NetWare 3.12J/3.2J/4.1J/4.11Jへのセットアップ

NetWareサーバでET/TX-PCIシリーズを設定する場合は本ページ以降を、NetWareクライアントでET/TX-PCIシリーズを設定する場合は「● クライアントの設定」(P40)以降を参照してください。

● サーバの設定

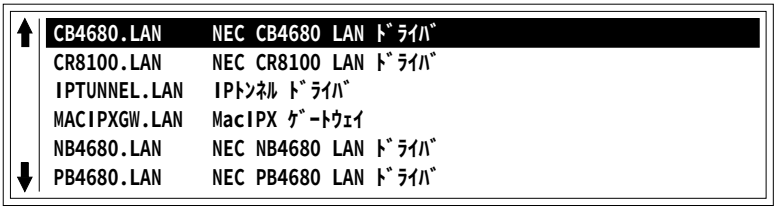
ドライバをインストールする前に、MS-DOS上で診断プログラムを動作させてアダプタが正常である事を確認してください。(「2.4 動作確認」(P13)参照)

注 意

NetWare 3.12J/3.2J/4.1J/4.11Jサーバを使用する前に、Novell社より提供の最新OSパッチモジュールをインストールしてください。

• NetWare4.1J/4.11Jサーバのインストール時の場合

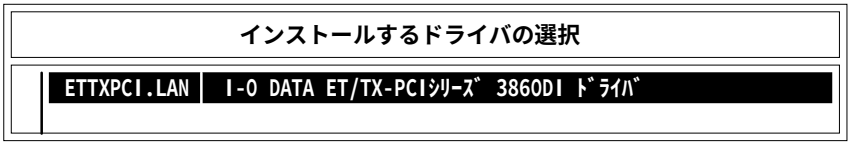
1 ネットワークドライバの設定画面で[Ins]キーを押し、「リストにないドライバ」のインストールを行います。



リストにないドライバのインストール<Ins>

2 「ET/TX-PCIサポートソフト」をフロッピーディスクドライブに挿入し、
スキャンするパスと同じならそのまま・キーを押し、異なる場合は[F3]キーを押してディレクトリパス（フロッピーディスクドライブ名のみ）を入力してください。

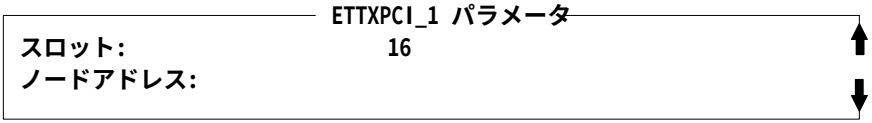
3 『インストールするドライバの選択』画面で以下のように表示されていることを確認して、・キーを押してください。



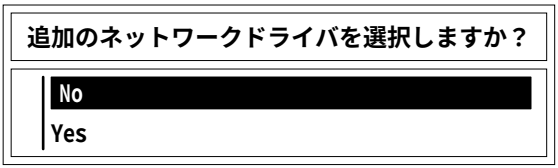
4 スロット番号を設定してください。

注 意

ET/TX-PCIシリーズで4.1J/4.11Jをご利用になる場合は、利用するドライバによってスロット番号が異なります。スロット番号がわからない場合は、番号を入力せずにドライバをロードします。サーバは、プロンプトに使用可能なスロット番号を表示します。その値を使用してください。



5 さらにETシリーズを追加する場合は、「追加のネットワークドライバを選択しますか？」の画面で「Yes」を選択すると**1**～**5**を繰り返します。



以上で設定は終了です。

• NetWare4.1J/4.11Jサーバへ追加設定する場合

1 システムコンソールから

xxxx:LOAD INSTALL・　　（下線部入力）

と入力し、「ドライバオプション」-「ネットワークドライバの設定」-「追加ドライバの選択」を選択してください。

2 後は、「・ NetWare4.1J/4.11Jサーバのインストール時の場合」(前ページ)を参照してインストールしてください。追加ドライバに対する操作で「追加ドライバの選択」を選択してください。

• NetWare3.12J/3.2Jサーバの場合

1 サーバマシンでMS-DOSを起動してください。(サーバマシンで既にNetWareが起動している場合は、ユーザーに通知してからシャットダウンしてください。)

2 「ET/TX-PCIサポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、フロッピーディスクドライブのnetware\386odi\4.1Jディレクトリから NetWare3.12J/3.2Jサーバがインストールされているディレクトリ (通常はserver.312) に必要なNetWareサーバ用ドライバをコピーしてください。

◎ DOS/Vマシンの場合

```
copy a:\netware\386odi\ettxpci.lan c:\server.312
```

◎ PC-9821シリーズの場合

```
copy c:\netware\386odi\ettxpci.lan a:\server.312
```

3 NetWare3.12J/3.2Jサーバを起動して、システムコンソールから

xxxx:LOAD INSTALL・　　(下線部入力)

と入力してください。

4 表示されているメニューから「ｼｽﾃﾑｵﾌﾟｼｮﾝ」-「AUTOEXEC.NCFﾌｧｲﾙの編集」を選択し、下記の2行を追加してください。

(例:DOS/Vマシンでｲｰｻﾈｯﾄ802.2[ﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ]を使用する場合)

```
load c:\server.312\ettxpci slot=yyyyy frame=ethernet_802.2   name=ettxpci_1_e82
 bind ipx to  ettxpci_1_e82 net=xxxx
```

下線部は同じにしてください。

(yyyyyは16番から割り当ててください。)

(xxxxはNetWareの環境によって異なります。)

以上でインストールは終了です。

NetWare3.12J/3.2Jを再起動すると有効になります。

注 意

1) NetWare3.12J/3.2Jサーバの設定は複雑です。詳細はNetWareなどの取扱説明書を参照してください。

2) autoexec.ncfに変更を加えた場合は、その環境を有効にするために必ずNetWare3.12J/3.2Jサーバを再起動してください。

● クライアントの設定

参 考

1)サーバへの接続にはネットワークシステム管理者が決めた仕様に伴い、NET.CFGの変更が必要になる場合があります。詳細はネットワークシステム管理者にご相談ください。
2)NetWareに添付されているインストールプログラムを使用する場合、「ET/TX-PCIサポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、ドライバの読み込み先は **A:\netware\dosodi**（フロッピーディスクドライブがAドライブの場合）と指定してください。

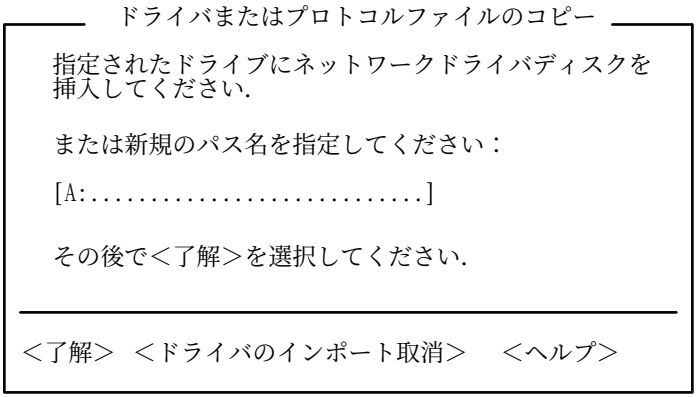
⟨設定手順⟩

1. NetWareのclientディレクトリのinstall.batを起動し、画面の指示に従ってインストールを進めてください。
2. 「ﾈｯﾄﾜｰｸﾎﾞｰﾄﾞのﾄﾞﾗｲﾊﾞを選択してください」の項目で・キーを押してください。
3. 「ﾈｯﾄﾜｰｸﾎﾞｰﾄﾞ」一覧の一番下の「他のﾄﾞﾗｲﾊﾞ」を選択し、・キーを押してください。
4. 『ﾄﾞﾗｲﾊﾞﾃﾞｨｽｸの挿入』で「a:\netware\dosodi」（フロッピーディスクドライブがAドライブの場合）と入力して・キーを押してください。
5. 「I-O DATA ET/TX-PCIｼﾘｰｽﾞ ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」と表示されている事を確認して・キーを押してください。
6. [F10]キーを押し、インストールを続けてください。

4.1.2 Microsoft LAN Manager V2.1xへのセットアップ

LAN Managerのsetup.exeを起動してください。

「表示/変更」－「ネットワークドライバの登録」－「新規設定」－「その他のドライバ」を順に選択してください。



「ドライバまたはプロトコルファイルのコピー」画面が表示されます。

「ET/TX-PCIサポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、挿入したドライブ名のみを入力し、＜了解＞を選択してください。

例) DOS/Vマシンで [フロッピーディスクドライブがAドライブ]の場合

A:・　(下線部入力)

例) PC-9821シリーズで [フロッピーディスクドライブがCドライブ]の場合

C:・　(下線部入力)

次に「I-O DATA ET/TX-PCIｼﾘｰｽﾞ ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」が表示されている事を確認してください。

「ネットワークプロトコル」で任意のプロトコルを選択して「ネットワークドライバ設定」で「了解」－「保存」でインストールは終了です。

注 意

1)DOS/Vマシンのマルチコンフィグ機能には対応していません。
2)CD-ROMドライブを使用している場合は、autoexec.batの「@REM ======= LANMAN 2.1･･･････････」で囲まれた領域を「mscdex.exe」の登録箇所より先に移動してください。

4.1.3 Personal NetWare J1.0へのセットアップ

install.exeでインストールする際に、「1次ネットワークインタフェースカード」－「OEM製NetWareインタフェースカードの設定」を選択後、「ET/TX-PCIサポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、挿入したドライブとディレクトリを指定します。

例）DOS/Vマシンで［フロッピーディスクドライブがAドライブ］の場合
A:\netware\dosodi・　（下線部入力）
例）PC-9821シリーズで［フロッピーディスクドライブがCドライブ］の場合
C:\netware\dosodi・　（下線部入力）

後は画面の指示に従ってインストールを継続してください。
詳細はPersonal NetWare J1.0のマニュアルを参照してください。

注 意

DOS/Vマシンのマルチコンフィグ機能には対応していません。

4.1.4 LANtastic 6.0 へのセットアップ

LANtastic 6.0のinstall.exeでインストールする際に「追加機能の選択」－「インストール処理の継続」選択後、「NDISサポート ネットワークアダプタ」を選択します。「ET/TX-PCIサポートソフト」ディスクを入れたドライブとディレクトリを指定します。

例）DOS/Vマシンで［フロッピーディスクドライブがAドライブ］の場合
A:\lantast・　（下線部入力）
例）PC-9821シリーズで［フロッピーディスクドライブがCドライブ］の場合
C:\lantast・　（下線部入力）

後は画面の指示に従ってインストールを継続してください。
詳細はLANtastic 6.0のマニュアルを参照してください。

注 意

DOS/Vマシンのマルチコンフィグ機能には対応していません。

4.2 日本語WindowsNT4.0へのセットアップ

4.2.1 インストール

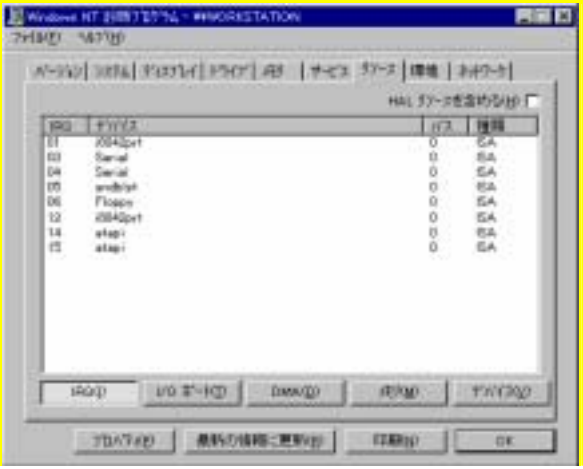
注 意

MS-DOSの起動ディスクを準備し、MS-DOSを起動してください。【2.4 動作確認】(P13)を参照して正常に動作することを確認してください。

ET/TX-PCIシリーズを取り付ける前にWindowsNT4.0のネットワークの設定を既に終了している場合はアダプタの追加のみの手順となります。アダプタの追加のみの場合は、網掛けの項目のみをご覧ください。

1 WindowsNT4.0を起動します。

2 まず、ET/TX-PCIシリーズが使用できるリソース（I/O ポート、割り込み,メモリ領域）を確認してください。
確認方法は、『プログラムマネージャ』－『管理ツール』の「WindowsNT診断プログラム」を起動して、空いている（使用していない）リソースで確認できます。



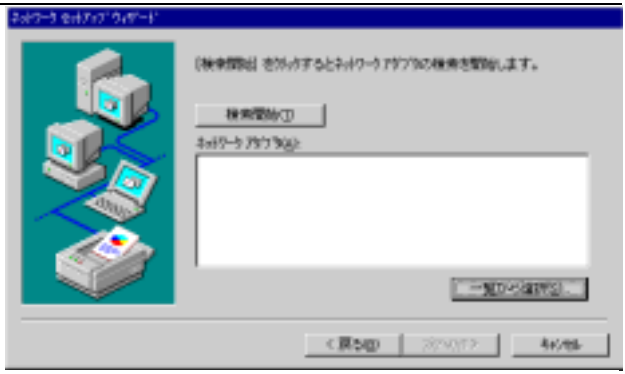
注 意

上記画面ですべてのリソースが表示されない場合があります。
詳しくは、パソコン本体取扱説明書をご覧ください。

3 『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』をクリックし、[ﾈｯﾄﾜｰｸ]アイコンをダブルクリックして開きます。別のネットワークカード等がインストールされている場合は、[アダプタ]タブをクリックして、[追加]ボタンをクリックしてください。（ネットワークがインストールされていない場合は、「Windows NT ネットワークがインストールされていません。インストールしますか ?」と表示されますので、[はい]ボタンをクリックしてください。）

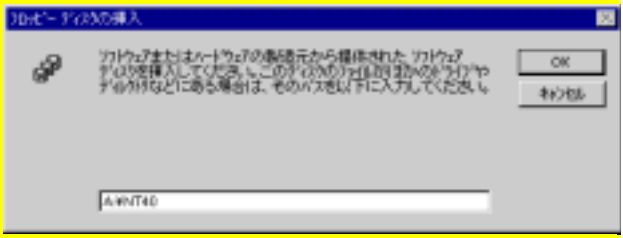
4 『ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾄｱｯﾌﾟｳｨｻﾞｰﾄﾞ』画面で、「ﾈｯﾄﾜｰｸに接続」がチェックされている事を確認して、[次へ]ボタンをクリックしてください。

5 検索の画面が表示されます。[一覧から選択]ボタンをクリックしてください。

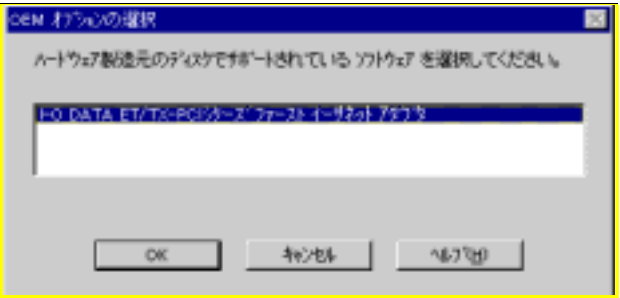


6 アダプター一覧が表示されます。右下の[ﾃﾞｨｽｸ使用]ボタンをクリックしてください。

7 『ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸ挿入』画面が表示されます。「ET/TX-PCIサポートソフト」をフロッピーディスクドライブに挿入後、「A:\NT40」と入力（フロッピーディスクドライブがAドライブの場合）して、[OK]ボタンをクリックしてください。



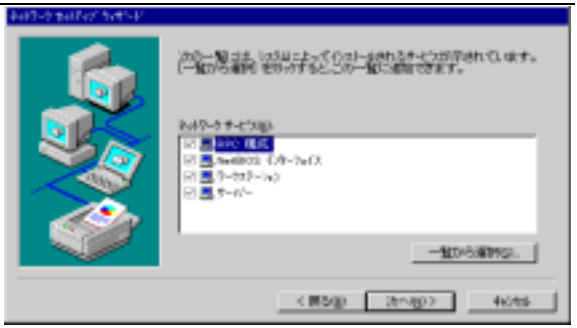
8 『OEMオプションの選択』画面では、「I-O DATA ET/TX-PCIｼﾘｰｽﾞ ﾌｧｰｽﾄｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」を選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。



9 右のように、「I-O DATA ET/TX-PCI ｼﾘｰｽﾞ ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」が表示されていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックしてください。

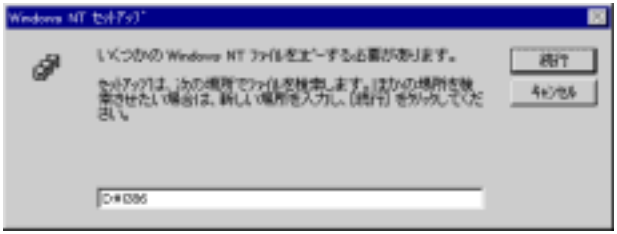
10 ネットワークで使用するプロトコルを指定し、[次へ]ボタンをクリックしてください。

11 ネットワークサービスを指定し、[次へ]ボタンをクリックしてください。



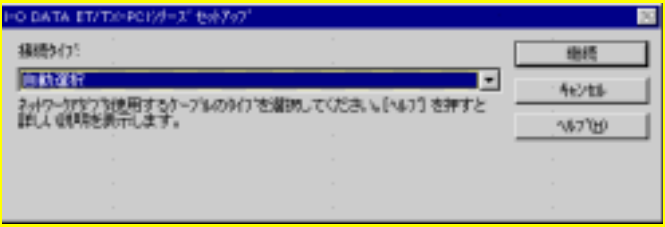
12 「選択されたﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾎﾟｰﾈﾝﾄとｼｽﾃﾑに必要なﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾎﾟｰﾈﾝﾄをｲﾝｽﾄｰﾙします。.....」と表示されますので、[次へ]ボタン をクリックし、それぞれのコンポーネントを設定してください。設定の詳細については、WindowsNT4.0のマニュアルをご覧になるか、またはネットワーク管理者にお尋ねください。

13 「いくつかのWindows NTﾌｧｲﾙをｺﾋﾟｰする必要があります」と表示されます。
WindowsNT4.0のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、
PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンの場合は「D:\i386」、
PC-9821シリーズの場合は「D:\PC98」と入力(CD-ROMドライブがDドライブの場合)して[続行]ボタンをクリックしてください。



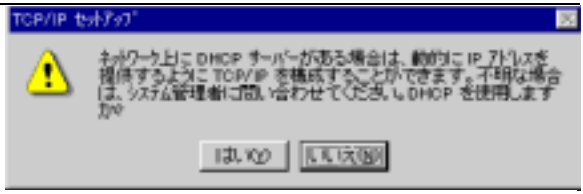
(PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンの場合)

14 接続タイプ設定の画面が表示されます。
接続タイプを設定し、[継続]ボタンをクリックしてください。



別のネットワークなどがインストールされている状態でET/TX-PCIシリーズを追加した場合の作業はこれで完了です。他に必要なネットワークの設定を行ったあと、画面の指示にしたがって再起動してください。

15 右の画面が表示された場合で、DHCPサーバがある場合は[はい]ボタンを、ない場合は[いいえ]ボタンをクリックしてください。



16 右の画面が表示された場合は、[IPｱﾄﾞﾚｽ],[ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ],[ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲ]を設定後、[OK]ボタンをクリックしてください。

17 ネットワークのバインドを設定し、[次へ]ボタンをクリックしてください。

18 「ﾈｯﾄﾜｰｸを起動する準備が整いました。」と表示されますので、[次へ]ボタンをクリックしてください。

19 ドメインまたはワークグループを設定し、[次へ]ボタンをクリックしてください。

20 「このｺﾝﾋﾟｭｰﾀにﾈｯﾄﾜｰｸがｲﾝｽﾄｰﾙされました。.....再起動しなければなりません。」と表示されます。[完了]ボタンを押して、「ET/TX-PCIサポートソフト」をフロッピーディスクドライブから抜き、再起動してください。

以上でインストールは完了です。
次ページを参照して、正しくインストールされたかどうか確認してください。

注 意

WindowsNT4.0にService Packをインストールしている場合は、もう一度Service Packをインストールしてください。

4.2.2 インストール後の確認

ここではET/TX-PCIシリーズがWindowsNT4.0で正常に認識されているかどうかの確認方法を説明します。インストール終了後、必ず以下の事を確認してください。

確認1

起動時に以下のようなエラーが表示されない事を確認してください。

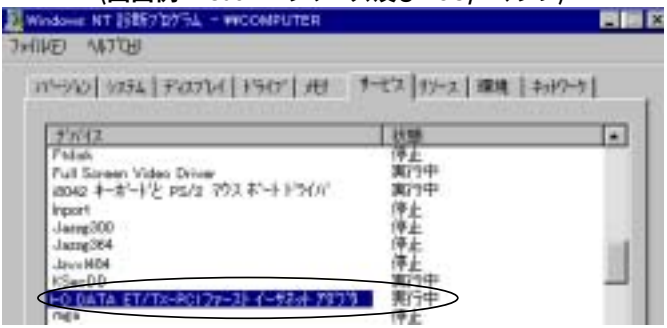
表示された場合はイベントログを確認してください。

確認2

『ｽﾀｰﾄ』→『ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ』→『管理ﾂｰﾙ』をクリックし、『Windows NT診断ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ』アイコンをダブルクリックして『Windows NT診断ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ』を起動します。

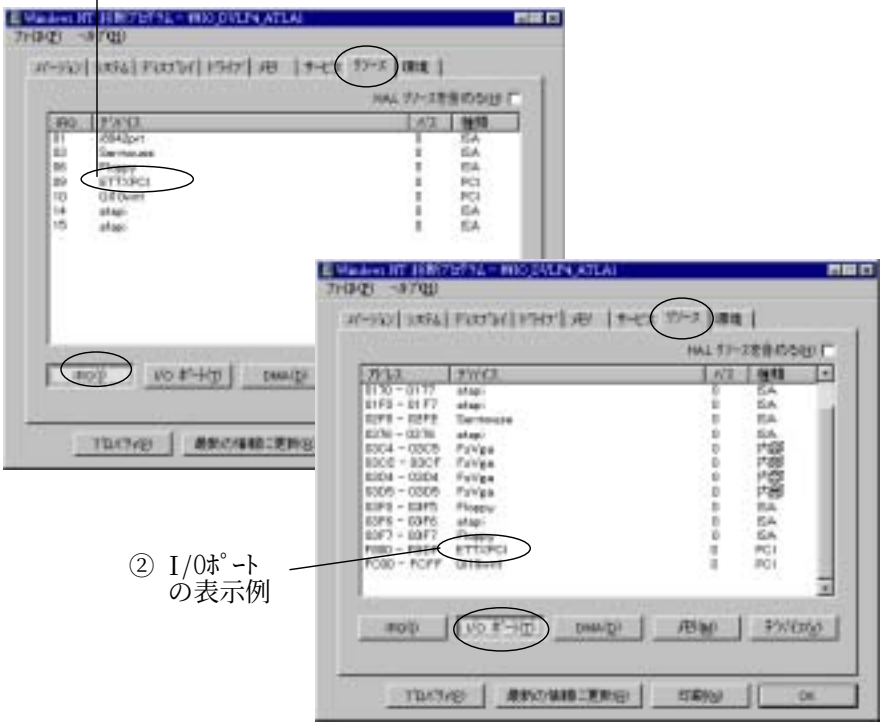
1.「ｻｰﾋﾞｽ」タブの「ﾃﾞﾊﾞｲｽ」ボタンをダブルクリックしてください。
「I-O DATA ET/TX-PCIｼﾘｰｽﾞ ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」の項目が表示されており、「状態」が「実行中」であることを確認してください。

(画面例：PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシン)



2.『Windows NT診断ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ』の「ﾘｿｰｽ」タブのIRQ(以下の①画面)及びI/Oポート(以下の②画面)で、[ﾃﾞﾊﾞｲｽ]に「ETTXPCI」が登録されている事を確認してください。

① IRQ の表示例



② I/Oﾎﾟｰﾄ
の表示例

WindowsNT4.0で、『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『ﾈｯﾄﾜｰｸ』の「ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」タブでの「I-O DATA ET/TX-PCIｼﾘｰｽﾞ ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」のプロパティでも現在のリソースを確認できます。

4.2.3 Windows版診断プログラム

本プログラムは、DOSが動作しない環境で使用できるWindows版のプログラムです。

注 意

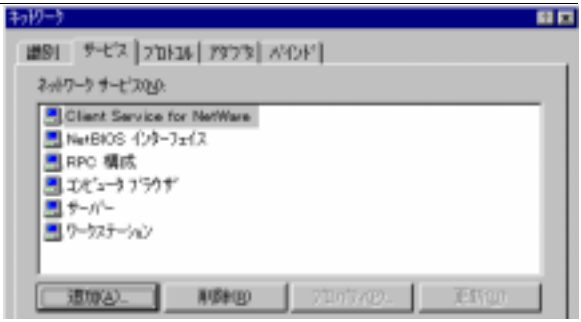
本プログラムはNetWare Client32 / Intranet Ware Clientをインストールしていると動作しません。

インストール

ネットワーク診断サービスのインストールを行います。

1 『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』の「ﾈｯﾄﾜｰｸ」アイコンをダブルクリックしてください。

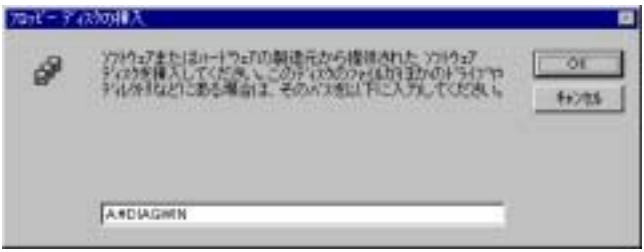
2 『ﾈｯﾄﾜｰｸ』画面が表示されます。
「ｻｰﾋﾞｽ」タブをクリック後、[追加]ボタンをクリックしてください。



3 右の画面が表示されますので、[ﾃﾞｨｽｸ使用]ボタンをクリックしてください。

4 「ET/TX-PCIサポートソフト」をフロッピーディスクドライブに入れ、下記のように入力して[OK]ボタンをクリックしてください。

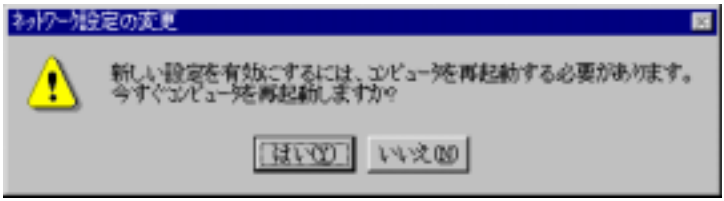
A:\DIAGWIN　　(下線部入力:ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがAﾄﾞﾗｲﾌﾞの場合)



5 「SMC ネットワーク アダプタ 診断 サービス」が選択されていることを確認して、[OK]ボタンをクリックしてください。必要なファイルのコピーを開始します。

6 手順**2**の画面に戻ります。
[閉じる]ボタンをクリックして画面を閉じてください。

7 下記の画面が表示されますので、**フロッピーディスクドライブから「ET/TX-PCIサポートソフト」を抜いて**、パソコンを再起動してください。



以上でインストールは終了です。
再起動後、診断プログラムを起動してください。

診断プログラムの実行

【3.4 Windows版診断プログラム】(P32)を参照して、診断プログラムを起動してください。

アンインストール

診断プログラムが必要なくなったら、下記の手順で診断サービスを削除してください。

① 『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』の「ﾈｯﾄﾜｰｸ」アイコンをダブルクリックしてください。
② 『ﾈｯﾄﾜｰｸ』画面が表示されますので「ｻｰﾋﾞｽ」タブを選択し、「SMC ﾈｯﾄﾜｰｸ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ 診断 ｻｰﾋﾞｽ」を選択して、[削除]ボタンをクリックしてください。
③ パソコンを再起動してください。

4.3 日本語WindowsNT3.51へのセットアップ

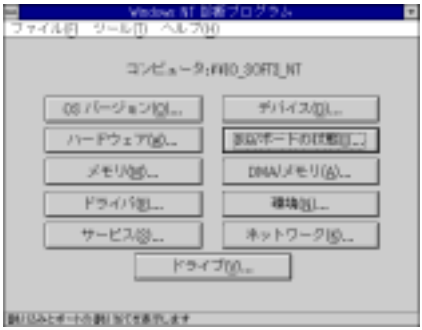
4.3.1 インストール

注 意

MS-DOSの起動ディスクを準備し、MS-DOSを起動してください。【2.4 動作確認】(P13)を参照して正常に動作することを確認の上、WindowsNT3.51を起動します。

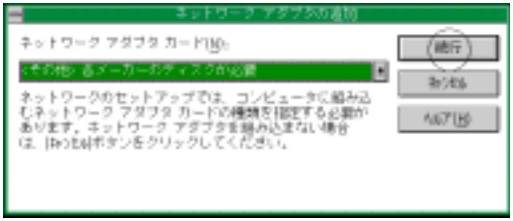
1 WindowsNT3.51を起動します。

まず、ET/TX-PCIシリーズが使用できるリソース（I/O ﾎﾟｰﾄ、割り込み）を確認してください。確認方法は、『プログラムマネージャ』－『管理ツール』の「WindowsNT 診断ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」を起動して、空いている（使用していない）リソースで確認できます。

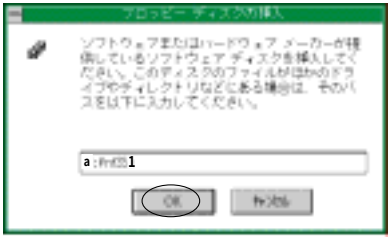


2 『メイン』→『コントロールパネル』の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックし、『ネットワークの設定』画面の[ｱﾀﾞﾌﾟﾀ ｶｰﾄﾞの追加]ボタンをクリックしてください。

3 『ネットワーク アダプタの追加』画面の「ネットワーク アダプタ カード」の項目で「<その他> 各メーカーのディスクが必要」を選択し、[続行]ボタンをクリックしてください。



4 『フロッピーディスクの挿入』画面で「ET/TX-PCIサポートソフト」ディスクを挿入後、以下の様に入力してください。



例) DOS/Vマシンで［ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがAドライブ］の場合

A:\nt351・　（下線部入力）

例) PC-9821シリーズで［ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがCドライブ］の場合

C:\nt351・　（下線部入力）

5 『OEM オプションの選択』画面で「I-O DATA ET/TX-PCIｼﾘｰｽﾞ ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」と表示されていることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。

6 『I-O DATA ET/TX-PCIｼﾘｰｽﾞ ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ ｾｯﾄｱｯﾌﾟ』画面で、接続タイプを設定し、[OK]ボタンをクリックしてください。

7 『コントロールパネル』－『ﾈｯﾄﾜｰｸ』画面でWindowsNT3.51のマニュアルに従って各種のﾈｯﾄﾜｰｸ構成を設定してください。

参考

WindowsNT3.51の「ﾈｯﾄﾜｰｸ」、「ｻｰﾊﾞ」、「FTPｻｰﾊﾞ」、「ﾌｧｲﾙﾏﾈｰｼﾞｬ」、「ﾕｰｻﾞﾏﾈｰｼﾞｬ」の設定により、WindowsNT3.51同士の「ピア・ツー・ピア」接続、「NetWareクライアント」接続、「WindowsNT3.51クライアント」接続などが可能になります。詳細はWindowsNT3.51のマニュアルをご覧頂くか、ネットワークシステム管理者にご相談ください。

4.3.2 Windows版診断プログラム

本プログラムは、DOSが動作しない環境で使用できるWindows版のプログラムです。

注 意

本プログラムはNetWare Client32 / Intranet Ware Clientをインストールしていると動作しません。

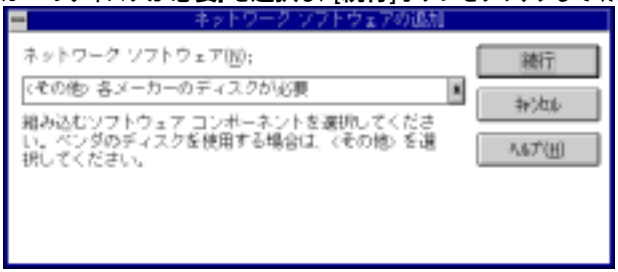
インストール

ネットワーク診断サービスのインストールを行います。

1 『プログラムマネージャ』→『メイン』→『コントロールパネル』の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。

2 『ネットワークの設定』画面が表示されますので「ET/TX-PCIｼﾘｰｽﾞ ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」を選択し、[ｿﾌﾄｳｪｱの追加]ボタンをクリックしてください。

3 『ネットワークソフトウェアの追加』画面が表示されますので、「＜その他＞ 各メーカーのディスクが必要」を選択し、[続行]ボタンをクリックしてください。



4 「ET/TX-PCIサポートソフト」をフロッピーディスクドライブに入れ、下記のように入力して[OK]ボタンをクリックしてください。

A:\DIAGWIN

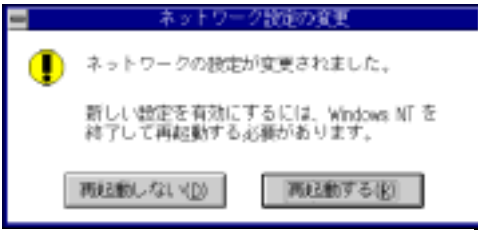
(下線部入力:ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがAﾄﾞﾗｲﾌﾞの場合)

5 「SMC ﾈｯﾄﾜｰｸ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ 診断 ｻｰﾋﾞｽ」が選択されていることを確認して、[OK]ボタンをクリックしてください。

必要なファイルのコピーを開始します。

6 手順**2**の画面に戻るので、[OK]ボタンをクリックして画面を閉じてください。

7 下記の画面が表示されますので、**フロッピーディスクドライブからサポートソフトを抜いて**、パソコンを再起動してください。



以上でインストールは終了です。

再起動後、診断プログラムを起動してください。

診断プログラムの実行

① 「ET/TX-PCIサポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、『プログラムマネージャ』→『アイコン』→『ファイル名を指定して実行』で下記のように入力し、[OK]ボタンをクリックすると診断プログラムが起動します。

A:\DIAGWIN\DIAG.EXE (ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがAﾄﾞﾗｲﾌﾞの場合)

② 【3.4 Windows版診断プログラム】(P32)を参照して、診断プログラムを動かしてください。

アンインストール

診断プログラムが必要なくなったら、下記の手順で診断サービスを削除してください。

① 『プログラムマネージャ』→『メイン』→『コントロールパネル』の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。

② 『ネットワークの設定』画面が表示されますので「ｻｰﾋﾞｽ」タブを選択し、「SMC ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾀﾞﾌﾟﾀ 診断 ｻｰﾋﾞｽ」を選択して、[削除]ボタンをクリックしてください。

③ [OK]ボタンをクリックして、パソコンを再起動してください。

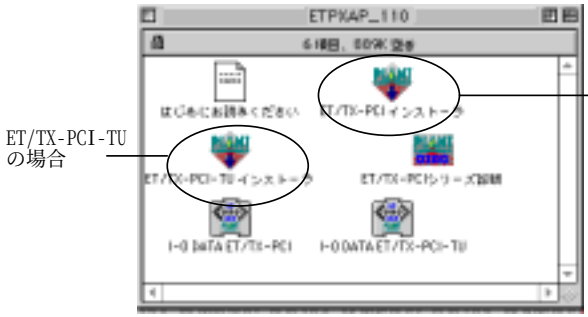
4.4 Mac OS 8.xへのセットアップ

4.4.1 インストール

注 意

他のアプリケーションを起動している場合は、すべて終了させてからインストール作業を行ってください。

1 「ET/TX-PCIサポートソフト for Macintosh」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、「ET/TX-PCIインストーラ」アイコン（ET/TX-PCI-TUの場合は、「ET/TX-PCI-TUインストーラ」アイコン）をダブルクリックしてください。

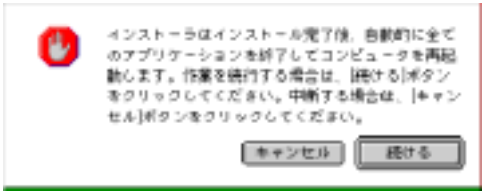


2 タイトルが表示されますので、[OK]ボタンをクリックしてください。

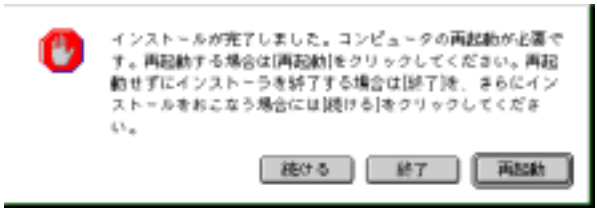
3 『インストール』画面が表示されます。
[インストール]ボタンをクリックしてください。

4 **下記の画面が表示されたら、他のアプリケーションがすべて終了されていることを確認して、[続ける]ボタンをクリックしてください。**

インストールを開始します。



5 **『インストール完了』画面が表示されますので、[再起動]ボタンをクリックしてパソコンを再起動してください。**



4.4.2 インストール後の確認

① [MacintoshHD]→[システムフォルダ]→[機能拡張]に、「I-O DATA ET/TX-PCI」アイコン（ET/TX-PCI-TUの場合は「ET/TX-PCI-TU」アイコン）が表示されていることを確認してください。

② [アップルメニュー]→[コントロールパネル]→[機能拡張マネージャ]で、「機能拡張」フォルダ内に「I-O DATA ET/TX-PCI」（ET/TX-PCI-TUの場合は「I-O DATA ET/TX-PCI-TU」）があり、「使用／停止」にチェックがあることを確認してください。

4.4.3 ネットワークの使用例

ここではネットワークの使用例として、AppleTalkでの設定例を示します。
「ET/TX-PCIシリーズ」のドライバをインストール後、前ページの確認を行って正常に動作する事を確認のうえ、ネットワークの設定を行ってください。

1 Mac OSを起動してください。

2 『アップルメニュー』→『コントロールパネル』→『AppleTalk（TCP/IPをお使いの場合は[TCP/IP]）』の「経由先」で、下記のように選択してください。

◎ Ethernetポートを持たない機種（Power Macintosh 4400等）

Ethernetを選択。

◎ Ethernetポートを持つ機種

Ethernetは、内蔵Ethernetに変化。

アダプタポートは、EthernetスロットA1,B1,C1,D2,E2,F2より選択。

3 『アップルメニュー』→『セレクタ』で「Apple Share」を選択し、ファイルサーバを選んでください。

『アップルメニュー』→『コントロールパネル』→『機能拡張マネージャ』の「機能拡張」内の「I-O DATA ET/TX-PCI」（ET/TX-PCI-TUの場合は「I-O DATA ET/TX-PCI-TU」）のチェックを確認してください。

参照

詳細は、Open Transportユーザーズガイドを参照してください。

付録 1 困った時には

ET/TX-PCIシリーズが異常になる理由は様々です。(ネットワーク回線が接続されていないなど、ユーザーによって容易に改善できる場合もあります。)
この章では、個々の共通のトラブルを解決するヒントを提供します。

● etsetup.exeでの自己診断中のトラブル

インストール時のトラブルの多くは、各種デバイスドライバとのパソコン資源の競合によって発生します。インストール時の障害を追求するための一番良い方法は、パソコンのCONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATを使用しないで起動することです。

参考

MS-DOS6.x以降の場合は、DOSの起動時に [F5] キーまたは [Shift] キーを押しながら、パソコンを再起動してください。そうでなければ、起動可能なシステムディスクを作成するか、CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATを他の名前に改名して、パソコンを再起動してください。

パソコン起動後、MS-DOS上で動作するetsetup.exeの「ＬＡＮアダプタの自己診断」でET/TX-PCIシリーズの診断とネットワーク回線のチェックが行えます。([2.4 動作確認] (P13)参照)

1) 10BASE-T/100BASE-TX(非シールドツイストペア)接続でアダプタ異常という結果になる。
   LNK(リンク)LEDインジケーターは、OFFになる。
   電源を入れた直後から画面に何も表示されない。
2) アダプタルーティングの診断テストは、External Loopbackテストの異常という結果になる。

原因 10BASE-T/100BASE-TXのツイストペア接続に異常がある。

対処 RJ-45接続が外れていないか、ケーブルの種類(クロスケーブルとストレートケーブル)が間違っていないかを調べてください。確認後システムを再起動し、再び診断プログラムを動かしてテストしてください。

「LANアダプタの自己診断」の実行ができない。

原因1 ケーブルの接続が悪い。

対処 RJ-45接続を使用している場合は、接続が緩みやケーブルの種類（クロスケーブルとストレートケーブル）が間違っていないかネットワーク回線を調べてください。

原因2 ET/TX-PCIシリーズが拡張スロットに正しく取り付けられていない。

対処 ET/TX-PCIシリーズがパソコンの拡張スロットに適切に装着されているか調べてください。

原因3 パソコンの拡張スロットに、異常がある。

対処 トラブルが起きているET/TX-PCIシリーズを別の拡張スロットに取り付けるか、他のパソコンに取り付け、動作テストを行ってください。
もし、これでトラブルが解決される場合は、トラブルが起きているパソコン本体の拡張スロットに異常があることになります。ネットワークシステム管理者またはパソコンの販売店にご相談ください。

原因4 WindowsのDOSプロンプトで、「LANアダプタの自己診断」を実行している。

対処 WindowsのDOSプロンプトで、「LANアダプタの自己診断」を実行しないでください。

ET/TX-PCIシリーズの環境設定の後にパソコンが異常になる。

原因 パソコン環境が競合している。

対処 I/Oポートアドレスと割り込み（IRQ）が他の周辺機器と競合していないかを調べてください。
パソコンで使用しているI/OポートアドレスがET/TX-PCIシリーズと重なるならば、ET/TX-PCIシリーズのI/OポートアドレスやIRQを確認し、競合するボードの設定を変更してください。
PCIバスにSCSIボードが挿入されている場合は、SCSIボードとI/Oポートアドレスが競合する場合があります。その場合は、SCSIボード側の開始アドレスを「6000h」から「6100h」に変更してください。
また、RJ-45接続を使用している場合は、接続の緩みやケーブルの種類（クロスケーブルとストレートケーブル）が間違っていないかネットワーク回線を調べてください。

● Windows98/95/NT上での共通トラブル

ET/TX-PCIシリーズのドライバをインストール後、正常に動作しない。

原因 ET/TX-PCIシリーズを取り付けているスロットが不安定である。

対処 以下の手順に従ってください。

① Windowsを起動後、『ﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』を右クリックし、「ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」を選択します。
（WindowsNT4.0では更に「ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」タブを選択します。）
「I-O DATA ET/TX-PCIｼﾘｰｽﾞ ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」を選択し、[削除]ボタンを押して「ET/TX-PCIシリーズ」のドライバを削除してください。

② シャットダウン後電源をOFFにし、「ET/TX-PCIシリーズ」を取り外してください。

③ 「ET/TX-PCIシリーズ」を他のPCIスロットに取り付けてください。

④ 電源をONにし、再度Windows用ドライバをインストールしてください。

「Windows版診断プログラム」が起動しない。

原因1 ET/TX-PCIシリーズのドライバがインストールされていない。

対処 ET/TX-PCIシリーズのドライバをインストールしてから、「Windows版診断プログラム」を起動してください。

原因2 「SMCネットワーク診断サービス」がインストールされていない。

対処 「SMCネットワーク診断サービス」をインストールしてから、「Windows版診断プログラム」を起動してください。

原因3 NetWare Client32 / Intranet Ware Client等の、NDIS3ネットワークドライバ以外のネットワークドライバがインストールされている。

対処 現在インストールされているネットワークドライバをアンインストール後、NDIS3ネットワークドライバをインストールしてから、「Windows版診断プログラム」を起動してください。

● Windows98/95上でのトラブル

『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→「ｼｽﾃﾑ」アイコンをダブルクリック後、『ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾃﾞﾊﾞｲｽ ﾏﾈｰｼﾞｬ」で、「I-O DATA ET/TX-PCIｼﾘｰｽﾞ ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」の頭に、黄色の！マークがついている。

原因 リソースが競合している。

対処 以下の手順に行ってみてください。（画面は、DOS/VマシンでのWindows98を例にしています。）

① 「I-O DATA ET/TX-PCIｼﾘｰｽﾞ ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」を選択し、[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ボタンをクリックします。「ﾘｿｰｽ」タブをクリックし、「競合しているﾃﾞﾊﾞｲｽ」を確認します。

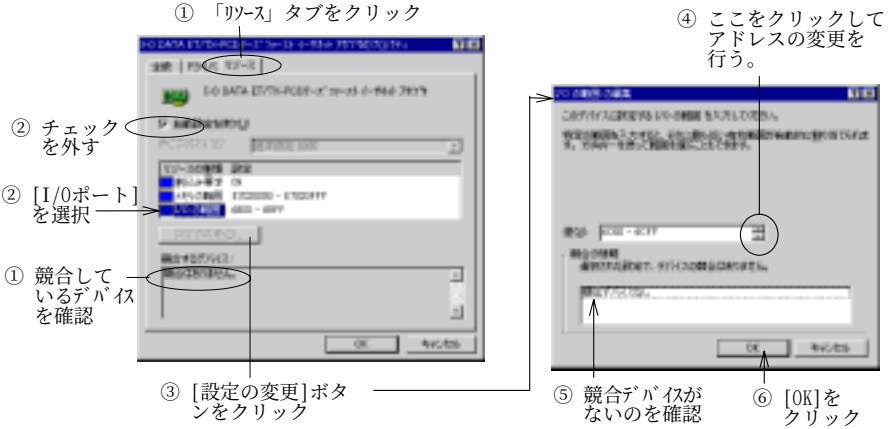
②「競合しているﾃﾞﾊﾞｲｽ」の「ﾘｿｰｽの種類」（「I/Oﾎﾟｰﾄｱﾄﾞﾚｽ」等）をクリックします。ここで、自動設定がチェックされていた場合は、チェックを外してください。

③ [設定の変更]ボタンをクリックします。編集画面が表示されます。

④ 設定値の変更を行います。

⑤ 変更した「値」が、「競合ﾃﾞﾊﾞｲｽがない」のを確認してください。競合ﾃﾞﾊﾞｲｽがある場合には、他の設定値に変更し直してください。

⑥ 変更終了後、編集ウィンドウの[OK]ボタンをクリックします。



後はすべての画面を閉じて、一旦パソコンを再起動してください。

インストール時にET/TX-PCIシリーズが自動検出されない。または、Windows98/95上でET/TX-PCIシリーズが正常に動作しない。

原因1 ET/TX-PCIシリーズが正しく取り付けられていない。

対処 【2.3 取り付け】(P10)を参照して、ET/TX-PCIシリーズを正しく取り付けてください。

原因2 間違ったドライバが既にインストールされている、またはドライバが正常にインストールされていない。

対処 まず『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→「ｼｽﾃﾑ」にある「ﾃﾞﾊﾞｲｽ ﾏﾈｰｼﾞｬ」を調べてください。「？」マークのところに「PCI Ethernet Controller」がある場合は以下の《ドライバの変更･更新》の手順に従ってください。
また、「PCI Ethernet Controller」がない場合は、システムの異常及びパソコン本体の異常が考えられます。パソコン本体メーカーにお問い合わせください。

《ドライバの変更･更新》

「PCI Ethernet Controllerのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」が選択された状態で、[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ボタンをクリックしてください。「PCI Ethernet Controllerのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」で[ﾄﾞﾗｲﾊﾞの変更]ボタン（または[ﾄﾞﾗｲﾊﾞの更新]ボタン）をクリックしてください。

この後、以下の個所を参照してください。

Windows98の場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・以下の［Windows98の場合］

Windows95バージョン4.00.950または4.00.950Aの場合

・・・・・・・・・・・・・・・・以下の［Windows95バージョン4.00.950/4.00.950aの場合］

Windows95バージョン4.00.950 Bまたは4.00.950 Cの場合

・・・・・・・・・・・・・・［Windows95バージョン4.00.950 B/4.00.950 Cの場合］(P71)

● Windows98の場合

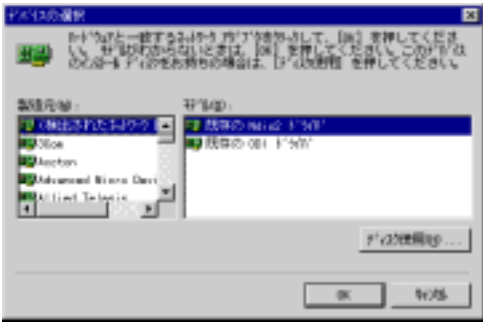
1 「次のデバイスの更新されたドライバを検索します。」では、[次へ]ボタンをクリックしてください。

後は、［3.1 Windows98へのインストール］の手順**3**(P20)以降を参照してください。

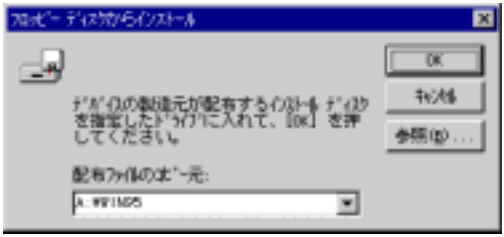
● Windows95バージョン4.00.950/4.00.950aの場合

1 「ﾊｰﾄﾞｳｪｱの選択」画面では、「ﾈｯﾄﾜｰｸ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」を選択して[OK]ボタンをクリックしてください。

2 「ﾃﾞﾊﾞｲｽの選択」画面では、[ﾃﾞｨｽｸ使用]ボタンをクリックしてください。



3 「ET/TX-PCIサポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「配布ﾌｧｲﾙのｺﾋﾟｰ元」に A:\WIN95 （ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがAﾄﾞﾗｲﾌﾞの場合）と入力し[OK]ボタンをクリックしてください。



4 「ﾓﾃﾞﾙ」欄に「I-O DATA ET/TX-PCIｼﾘｰｽﾞ ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」と表示されている事を確認後、[OK]ボタンをクリックしてください。

5 「PCI Ethernet Controllerのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」画面に戻ります。
[OK]ボタンをクリックしてください。

後は、〔3.2.1 バージョン4.00.950/4.00.950aの場合〕の手順**4**(P24)以降を参照してください。

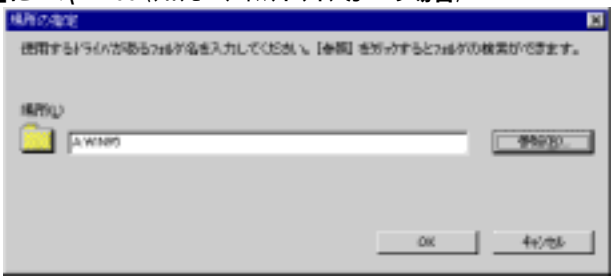
● Windows95バージョン4.00.950 Bまたは4.00.950 Cの場合

1 「ET/TX-PCIサポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに入れます。

2 「自動検索しますか？」では、「はい」を選択後、[次へ]ボタンをクリックしてください。

3 「このﾃﾞﾊﾞｲｽ用の更新されたﾄﾞﾗｲﾊﾞがみつかりませんでした。」と表示された場合は、[場所の指定]ボタンをクリックしてください。

4 フロッピーディスクドライブに「ET/TX-PCIサポートソフト」ディスクを挿入し、「配布ファイルのコピー元」に A:\WIN95（ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがAの場合）と打ち込み、[OK] ボタンをクリックしてください。



後は、【3.2.2 バージョン4.00.950 B/4.00.950 Cの場合】の手順**3**(P26)以降を参照してください。

● Windows3.1,MS-DOS(PC DOS)上でのトラブル

MS-DOS（PC DOS）用のネットワークドライバ組み込み時にハングアップする

原因 MS-DOSまたは、メモリマネージャのバージョンが古い。

対処 MS-DOSまたは、メモリマネージャのバージョンを確認し、【1.3 動作環境】の5ページ目を参照して対応外のものでないかを確認してください。

● Power Macintoshでのトラブル

AppleTalkなどの経由先に「ET/TX-PCIシリーズ」の接続が表示されない

原因 「ET/TX-PCIシリーズ」のドライバがインストールされていません。

対処 【4.4.2 インストール後の確認】(P62)を参照して、ドライバが表示されているかどうか確認してください。表示されていない場合は、【4.4.1 インストール】(P60)を参照してインストールを行ってください。それでもインストールされない場合は、サポートソフトから「I-O DATA ET/TX-PCI」ドライバ（ET/TX-PCI-TUの場合は「I-O DATA ET/TX-PCI-TU」ドライバ）を、[機能拡張]フォルダにコピーして再起動してみてください。

診断プログラムが正常に動作しない

原因 ドライバをインストール後に、診断プログラムを起動しています。

対処 診断プログラムは、ドライバをインストールする前にご使用ください。ドライバをインストールしてしまった場合は、一度ドライバを削除後、パソコンを再起動してください。その後、診断プログラムを起動してください。

付録 2 仕様

ここではパソコンの環境状況及びET/TX-PCIシリーズの仕様について記述します。

付2.1 パソコン環境

ET/TX-PCIシリーズはPlug and Playに対応していますので「割り込み(IRQ)」「I/Oポートアドレス」は自動的に設定されます。パソコンにセットする際に特別な設定は必要ありません。ただし、Plug and Playに対応していないボードと共に使用する場合は、そのボードが使用する「割り込み(IRQ)」「I/Oポートアドレス」「DMAチャネル」などをBIOSセットアップ(PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシン)や、PCIセットアップディスク(PC-9821シリーズ)により、あらかじめ設定しておく必要があります。設定の詳細はお持ちのパソコンやマザーボード、各拡張ボードのマニュアルをご覧ください。

・PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシン本体の割り込み、DMA、I/Oポートアドレス使用状況 (一例)

パソコン本体		IRQ	DMA	I/O Port Address(備考)
タイマー		0		
キーボード・コントローラ		1		0060h～0067h
IRQ8～15のカスケード接続用		2		(IRQ9と併用不可能)
RS-232C	(COM4)	3		2E8h～2EFh
	(COM2)			2F8h～2FFh
	(COM3)	4		3E8h～3EFh
	COM1			3F8h～3FFh
(LPT2)		5		278h～27Fh
FDDコントローラ		6	2	3F0h～3F7h
LPT1		7		378h～37Fh
リアルタイムクロック		8		
未使用(IRQ2にリダイレクト接続)		9		(IRQ2と併用不可能)
未使用		10		
未使用		11		
(PS/2マウスポート)		12		0060h～0067h
数値演算コプロセッサ(80287)		13		
プライマリIDEドライブコントローラ	drive0	14		1F0h～1F7h
	drive1			3F6h～3F7h(FDと共有)
(セカンダリIDEドライブコントローラ)	drive2	15		170h～177h
	drive3			376h～377h

注 意

パソコン本体の仕様により、異なる場合があります。マニュアルなどを参照して確認してください。

・PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシン用各種ボードの割り込みレベルとDMA使用状況（一例）

パソコン本体		IRQ	DMA	I/Oポートアドレス
GAシリーズ(VGAモード使用時)				3C0h～3DFh,46E8h
SC-DV/ISA		11		140h～14Fh
Sound Blaster16	Game Port	5	1,5	200h～207h
	SB16			220h～233h
	MIDI			330h～331h
	FM音源			388h～38Bh
Sound Blaster Pro	Game Port	5	1	200h～207h
	SB Pro			220h～233h
	MIDI			330h～331h
	FM音源			388h～389h(～39Fh)
AHA-1520/1522		11		340h～35Fh
AHA-1540/1542		11	5	330h～333h

・PC-9821シリーズの割り込みレベルとDMA使用状況（一例）

パソコン本体		割り込みレベル(INT)									DMA チャネル			
		0	1	2	3	41	42	5	6	無し	#0	#1	#2	#3
マウス									●					
IDE 内蔵ハードディスク					●									
内蔵サウンド機能								◎						
内蔵フロッピィディスク I/F	640KB					△								△
	1MB/1.44MB						●						●	
TVチューナボード				●										
FAXモデム			●											
2nd CCU			◎											
赤外線通信機能			◎											

●出荷時設定（パソコン本体のマニュアルなどを参照してください。◎の部分は解放可能な場合があります。）

△解放可能（PC-9821シリーズのシステムセットアップメニューまたはディップスイッチで、フロッピーディスクモードを「1M」に固定｛SW3-1 ON,SW3-2 OFF｝すると解放されます。この場合でも 2DD(640KB/720KB) のディスクはアクセスできます。）

・各種PC-9821シリーズ用ボードの割り込みレベルとDMA使用状況（一例）

拡張ボード	割り込みレベル(INT)									DMA チャネル			
	0	1	2	3	41	42	5	6	無し	#0	#1	#2	#3
SC-98III/98IIISB SCSI-2 I/F	●	○	○	○						○			●
MPG-98　　MPEG再生ボード	○	●	○		○								
GV-MTV/98　多機能ビデオボード	○	○	●		○								
SB16/98　　サウンドブラスター	○	●			○		○			○			●
	△				△		▲	△					
RSA-98シリーズ 高速RS-232C拡張ボード	●	○	○	○	○		○	○	○				
PC-9801-07/27 HD I/F				●						●			
PC-9801-55/55U/55L/92 SCSI I/F	○	○	○	●			○	○		●		○	○
PC-9801-26/K　サウンドボード	○				○	○	●	○					
PC-9801-73/86 サウンドボード	○				○		●	○					

●出荷時設定（▲YM2203用の出荷時設定[YM2203使用時のみ有効]）

○変更可能　（△YM2203用の変更可能設定[YM2203使用時のみ有効]）

・各種PC-9821シリーズ用ボードのI/Oポートアドレス使用状況（一例）

拡張ボード	I/Oポートアドレス					備考
	xxD0h	xxD2h	xxD4h	xxD6h	xxD8h	
SC-98III/98IIISB						※1
MPG-98	**x5D0h**					**x=7** x=0h～Fh(設定可能)
GV-MTV/98	**0xD0h**		0xD4h		0xD8h	0xDCh(設定可能) **x=7** x=4h～7h(設定可能)
SB16/98		**nnD2h**	nnD4h	nnD6h	nnD8h	nnDAh～nnDEh(2h単位で設定可能) nn=04h～07h,20h～2Fh, 30h～33h,80h,81h(占有)
GA-1024A/1280A	nnD0h		nnD4h		**nnD8h**	nnDCh～nnECh(4h単位で設定可能) nn=00h～1Fh(占有)
GA-98NBｼﾘｰｽﾞ						**nnE0h** ※2,46E8h(占有)
RSA-98ｼﾘｰｽﾞ	**xxD0h～xxD7h,xxE0h～xxEFh**					xxDAh(RSA-98Ⅱ/Sのみ使用) **xx=50** xx=00h～FFh(設定可能)
INS-B64D	**xxD0h**		xxD4h		xxD8h	xx00h～xxFCh(4h単位で設定可能) **xx=00** xx=00h～FFh(設定可能)

■ 出荷時設定

※1 ： PnPモード時は、可変。
非PnPモード時は、CC0h,CC2h,CC4hに設定。

※2 ： nnE0h～nnE6h,nnEAh～nnEEh(2h単位で設定可能)nn=40h～5Fh占有
GA-98NBⅠ/Cのみ3nD2h,3nD4h,3nD6h,3nD8hのいずれか1バイト分(nは0h～2hを占有)を使用

注 意

1)使用可能な割り込みレベルやDMAチャネルの数は限られてます。このため、拡張ボードを多く使用しようとすると、重複がさけられない場合があります。
この場合は、重複のさけられない拡張ボードと併用できません。それらのボードを必要に応じて使い分けてください。
また、I/Oポートアドレスの使用状況は、各拡張ボードのマニュアルを参照して確認してください。
2)PC-9821シリーズで汎用拡張スロット用のプラグ＆プレイ対応ボードを使用すると、ボードを取り外した後もリソース情報が記憶されているため、割り込みやI/Oポートアドレスを正しく設定できないことがあります。このような場合はPCIセットアップディスクを使用し、取り外したボードのリソース情報を削除してから再度パソコンを起動してください。（方法はパソコン本体の取扱説明書を参照してください。）

併用する拡張ボードの割り込みレベルがIRQで表記されている場合は、下表でINT表記との関係を確認してください。

INT 表記	INT 0	INT 1	INT 2	INT 3	INT41	INT42	INT 5	INT 6
IRQ 表記	IRQ 3	IRQ 5	IRQ 6	IRQ 9	IRQ10	IRQ11	IRQ12	IRQ13

付2 ハードウェア仕様

LANアダプタボード	ET/TX-PCI	ET/TX-PCI-TU
LANコネクタ	RJ-45	
メディアタイプ	10BASE-T/100BASE-TX(RJ-45)単一コネクタ	
伝送方法	ベースバンド方式	
アクセス方法	CSMA/CD	
LEDインジケータ	100BASE-TX(100) Link(LNK) TX/RX(T/R) Full-Duplex(FDX)	
転送レート	10Mbps/100Mbps	
IRQ（割り込み）ﾁｬﾝﾈﾙ	INT A, BIOS IRQセットアップによる自動設定	
I/Oポートアドレス	自動検出設定	
使用温度範囲	0℃～40℃（パソコンの動作する温度範囲であること）	
使用湿度範囲	10%～90%(結露しないこと。パソコンの動作する湿度範囲であること)	
消費電流(MAX)	DC+5V±5%･･･最大500 mA	
サイズ	120.0×54.0 mm	
重量	50g	

PLANTコールセンターへのお問い合わせ

弊社PLANTコールセンターへのお問い合わせはユーザー登録された方に限ります。

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所･氏名･郵便番号･連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアルNo.
   (フロッピーディスクに貼ったVerシールに印刷されています。)
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOS(NOS)とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の
   状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン (パソコン通信)

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	http://www.iodata.co.jp/ 「PLANTコールセンターお問い合わせ」内のフォームを使用してE-mailをお送りください。
IOS-NET	ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ機器ﾌｫｰﾗﾑのサポートセンター
NIFTY-SERVE	ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)サポート会議室

■郵便

住所　〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1
株式会社アイ・オー・データ機器
PLANTコールセンター「ET/TX-PCIｼﾘｰｽﾞ」係　宛

■電話

電話番号　東京　03-5256-2010

受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

■FAX

FAX番号　東京　03-3254-9055

宛先　株式会社アイ・オー・データ機器
PLANTコールセンター「ET/TX-PCIｼﾘｰｽﾞ」係　宛

本製品に関するお問い合わせはPLANTコールセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■IOSーNET

アクセスポイント

東京　03-5295-6570　　大阪　06-368-2291
金沢　076-234-9811　　VTX(*) 166-77100

『アイ･オー･データ機器フォーラム』→『サポートソフトライブラリ』を選び、必要なソフトや差分ファイルをダウンロードしてください。

(*)VTXのお申し込みと、VTXに対応した通信ソフトが必要です。VTXに関するお問い合わせは最寄りのNTT(0120-443322)へどうぞ。

IOS-NET概要

最大通信速度	33600bps				
通信手順	N81XN （ﾊﾟﾘﾃｨﾋﾞｯﾄなし,8bit DATA,ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ1, X ON,ｼﾌﾄ制御なし）				
使用文字コード	シフトJIS		制限時間	30分	
CONNECT ID	IOS	USER ID	GUEST	パスワード	なし

■その他のパソコン通信

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ　　http://www.iodata.co.jp/ →「ｻﾎﾟｰﾄ･ﾗｲﾌﾞﾗﾘ」
NIFTY-SERVE　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)のﾗｲﾌﾞﾗﾘ11(LIB 11)

■バージョンアップ窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。(送料及び手数料はお客様負担)

住所　〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1
株式会社アイ・オー・データ機器
「ET/TX-PCIｼﾘｰｽﾞ」バージョンアップ係　宛
電話番号　076-263-7070
受付時間　9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

- パソコン通信によるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
- 添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。
- このサービスへのご質問は、弊社PLANTコールセンターやバージョンアップ窓口ではお受けできません。

修理について

弊社製品の修理については、以下の事項をご確認のうえ、販売店もしくは弊社PLANTコールセンターへご依頼ください。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『PLANTコールセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇電源ONで挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。
- 修理品送付先

住所	〒920-8513 石川県金沢市桜田町15街区7　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル 株式会社アイ・オー・データ機器 「ET/TX-PCIｼﾘｰｽﾞ」　修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせ窓口

電話番号	金沢　076-260-3663
受付時間	9:30～12:00　13:00～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。

ET/TX-PCIｼﾘｰｽﾞ 取扱説明書
1998.Dec.07 27643-01
発 行　株式会社アイ･オー･データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1

© 1998 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにVerシールをお貼りください

Verシール